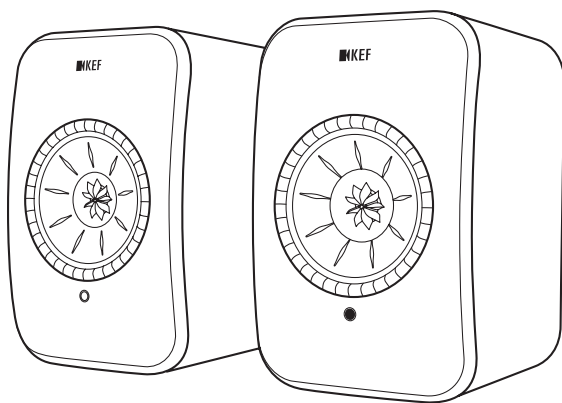




取扱説明書

LSX II LT

目次

1. はじめに	5
2. 一般事項	6
2.1 取扱説明書の利用と保管	6
2.2 シグナルマークとワードの定義	6
3. 箱の内容物および開梱	7
4. LSX II LTの初期設定	8
4.1 適切なルーターの選択	8
4.2 電源への接続	9
4.3 Onboarding（オンボーディング）	10
4.3.1 KEF Connectアプリのインストール	10
4.3.2 iOSデバイスの使用	11
4.3.3 Androidデバイスを使用する場合	12
4.4 スピーカーの配置と接続	14
4.5 設置用機器	15
4.5.1 壁面ブラケット	15
4.5.2 デスクパッド	15
4.5.3 床面スタンド	15
4.6 Wi-Fiなしで設定する方法	16
4.6.1 非Wi-Fi モード	16
4.6.2 非ワイヤレスモード	16
5. 接続およびインターフェースのコントロール	17
5.1 フロントパネル	17
5.2 バックパネル	18
5.3 底面パネル	19
5.4 LED 表示ランプ	20
5.5 リモコン	21
5.6 KEF Connectアプリ	22
6. Wi-Fiストリーミング	23
6.1 ワイヤレスストリーミング・プロトコル	23
6.1.1 AirPlay	23
6.1.2 Google Cast	24
6.1.3 音楽ストリーミングアプリのネイティブプロトコル	26
6.1.3.1 Spotify Connect	26
6.1.3.2 QPlay	27
6.1.3.3 TIDAL Connect	28
6.1.4 KEF Connect アプリでのストリーミング	29
6.1.4.1 Amazon Music	29
6.1.4.2 Deezer	29
6.1.4.3 Qobuz	29
6.1.4.4 Spotify	29
6.1.4.5 TIDAL	30
6.1.4.6 インターネットラジオ	30
6.1.4.7 ポッドキャスト	30
6.1.5 UPnP再生	30
6.2 ストリーミングプロトコルを選択するためのヒント	31
7. マルチルームストリーミング	32
7.1 AirPlay	32
7.2 Google Cast	32

8. モバイルデバイスを介した音声コントロール	35
8.1 Siri	35
8.2 Googleアシスタント	35
9. Bluetoothでの再生	36
9.1 Bluetoothモードの選択	36
9.2 Bluetoothのペアリング設定	36
9.3 再生コントロールについて	37
10. HDMI ARC入力での再生	38
10.1 HDMIケーブルでの接続	38
10.2 TV Mode (TVモード) の選択	39
10.3 再生コントロールについて	39
11. 光デジタル入力での再生	40
11.1 光デジタルケーブルでの接続	40
11.2 光デジタルモードの選択	41
11.3 再生コントロールについて	41
12. USB入力での再生	42
12.1 USB 接続	42
12.2 USBモードの選択	43
12.3 再生コントロールについて	43
13. KEFConnectアプリの使用	44
13.1 ホーム	44
13.1.1 概要	44
13.1.2 ホーム画面の編集	45
13.2 リモコン	45
13.3 音楽コンテンツ	46
13.3.1 音楽ストリーミングサービスから音楽を再生する	47
13.3.1.1 Amazon Music	47
13.3.1.2 Deezer	48
13.3.1.3 Qobuz	49
13.3.1.4 Spotify	49
13.3.1.5 Tidal	50
13.3.1.6 インターネットラジオ	51
13.3.1.7 ポッドキャスト	51
13.3.1.8 カスタムステーション	52
13.3.2 再生コントロールについて	53
13.3.2.1 再生画面	53
13.3.2.2 音楽の検索	53
13.3.2.3 お気に入り	54
13.3.2.4 トラックリスト	55
13.3.2.5 プレイリスト	57
13.4 イコライゼーション	59
13.4.1 Normal Mode (通常モード)	59
13.4.2 Expert Mode (エキスパートモード)	61
13.4.3 サウンドプロファイルの選択	64
13.4.4 サウンドプロファイルの名前変更	64
13.4.5 サウンドプロファイルの削除	65
13.5 プロファイルについて	66
13.6 マイスピーカーを選択する	67
13.6.1 マイスピーカーと近くのスピーカー	67
13.6.2 Speaker Info スピーカー情報	68

13.7	スピーカーの環境設定.....	69
13.7.1	電源オプション - スタンバイモードについて	69
13.7.2	電源オプション - 2番目のウェイクアップソース	69
13.7.3	電源オプション - テレビソースの自動切り替え.....	69
13.7.4	取り込み中 - スタンバイLED.....	69
13.7.5	取り込み中 - 起動音.....	70
13.7.6	スピーカーシステムのオプション - 左/右スピーカーの反転.....	70
13.7.7	スピーカーシステムのオプション - KW-1/パワーモード	70
13.7.8	サブウーファースystemの設定オプション - ウェイクサブオンスタートアップ.....	70
13.7.9	サブウーファースystemの設定オプション - KW-1 ウェイクアップモード (KC62/KF92)	70
13.8	音量について	71
13.8.1	音量表示の設定.....	71
13.8.2	ハードウェアの音量設定.....	71
13.8.3	スピーカーの音量感度	72
13.8.4	最大音量	72
13.8.5	起動音量	72
13.9	パフォーマンス.....	73
13.9.1	ストリーミング設定 - オーディオクオリティ	73
13.9.2	ネットワーククオリティ	73
13.10	ファームウェアのアップグレードについて.....	75
13.10.1	自動ファームウェアチェック	75
13.10.2	ファームウェアを手動でアップデートする.....	75
13.11	アプリケーション.....	76
13.11.1	テーマを設定する - テーマ.....	76
13.11.2	テーマを設定する - ホーム画面をリセットする.....	76
13.11.3	分析 - アプリ/スピーカーの機能性向上.....	76
13.12	リモコン	76
13.13	Google Cast.....	77
13.14	お客様サポート	78
14.	クリーニングとメンテナンス.....	79
15.	廃棄について.....	80
15.1	梱包材の廃棄.....	80
15.2	スピーカーの廃棄.....	80
15.3	バッテリーの廃棄.....	80
16.	よくあるご質問とトラブルシューティング	81
16.1	設定方法	81
16.2	再生とストリーミング	83
16.3	トラブルシューティング	85
16.4	LED 表示ランプ	89
17.	付録.....	92
17.1	仕様.....	92
17.2	スピーカー接続テスト	94
17.3	消費電力.....	99
17.4	表示マークの説明	99
17.4.1	警告・忠告マーク	99
17.4.2	国・地域別マーク	99
17.5	IR (赤外線) コマンドコード	101

1. はじめに

KEFワイヤレススピーカシステム - LSX II LTをお選びいただきありがとうございます。

KEFは、オーディオの世界で名高いブランドであり、常に革新の限界を押し広げてきました。60年以上の経験を持つKEFは、スピーカーの研究と開発の先駆者として、最新の音楽フォーマットを最高品質で再現するためのクラスをリードするスピーカーを設計してきました。LSX II LTは、デジタル音楽時代にぴったりのコンパクトでありながらパワフルなスピーカースystemです。

LSX II LTは、LS Wirelessコレクションの一部であり、ハイファイにこだわりを持つ新規ユーザーと、マルチルームストリーミングを導入したい既存のKEFの顧客の両方を対象としています。LSX II LTの多様性は、次世代のプラグ&プレイスピーカースystemに歓迎されています。

この取扱説明書をよくお読みの上、説明内容に従ってスピーカースystemをご使用ください。

2. 一般事項

2.1 取扱説明書の利用と保管



この取扱説明書は、LSX II LT スピーカーシステム（以下、スピーカー）に付属しており、スピーカーのセットアップと取り扱いに関する重要な情報を記載しています。

スピーカーのご使用前に、本書と安全上の留意項目（別冊）をよくお読みください。安全上の留意項目は特にご注意ください。十分に内容をご理解頂けない場合、怪我やスピーカーの損傷につながる恐れがあります。

必要な時にご覧になれるよう、本書と安全上の留意項目は大切に保管してください。スピーカーを第三者へ譲渡する場合は、必ず本書もお渡しください。

2.2 シグナルマークとワードの定義

本書では、以下のマークやワードが使用されています。

▲ 警告！

このシグナルマークとワードは、記載事項を回避しない場合に重大な怪我や死に至る恐れがあり、中程度の危険リスクがあることを示しています。

注意！

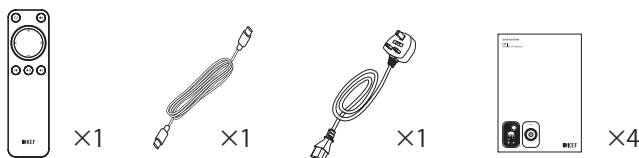
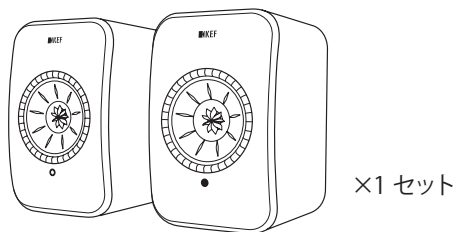
グナルワードは、物的損傷の恐れがあることを警告しています。



このマークでは、取り扱いやご使用に関して役立つ補足情報をご案内しています。

3. 箱の内容物および開梱

箱の開封には十分お気をつけください。Uni-Qドライバー（スピーカーコーン）の損傷を避けるため、側面からスピーカーを持ち上げます。



1. 箱からスピーカーと付属品を取り出します。
2. 以下のパーツがすべて入っていることを確認します。
 - ・スピーカー × 2 (プライマリスピーカー × 1、セカンダリスピーカー × 1)
 - ・リモコン × 1 (単4電池2本入り)
 - ・USB-C インタースピーカーケーブル × 1 (長さ: 3 m)
 - ・電源ケーブル × 1 (長さ: 2 m、ご使用の国に対応した電源プラグ付き)
 - ・印刷物: クイックスタートガイド、製品の安全や仕様に関する情報、保証に関する情報と KEF よりウェルカムカード
3. スピーカーや各パーツに損傷がないかご確認ください。もし損傷があった場合は、スピーカーは使用せず販売店にご連絡ください。

4. LSX II LTの初期設定

4.1 適切なルーターの選択

最高の音質と包括的操作性、また音楽ストリーミングを楽しむには、スピーカーをお使いのWi-Fiネットワークに「オンボード (onboarded)」する必要があります (「Onboarding (オンボーディング)」の章をご参照ください)。

ルーターに必要な技術要件

- ネットワーク規格: IEEE 802.11a/b/g/n/ac、IPv4、IPv6、
- 周波数帯域: デュアルバンド 2.4 GHz / 5 GHz



- 高解像度の音楽の再生に必要な安定したストリーミングには、5GHz Wi-Fiネットワークをお勧めします。
- **ゲスト、オフィス、またはパブリックネットワークへの接続:** オフィス、ホテル、ゲスト、およびパブリックネットワークでは、多くの場合、スピーカーの接続を妨げる可能性のある追加のセキュリティまたは認証手法が使用されています。これらのネットワークを使用する場合、デバイスのすべての機能を使用するには、ネットワーク管理者によるアクセス許可が必要となる場合があります。

4.2 電源への接続

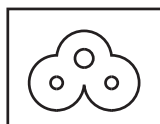
1. プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーの間に、USB-Cインタースピーカーケーブルを接続してください。

T TO P/S



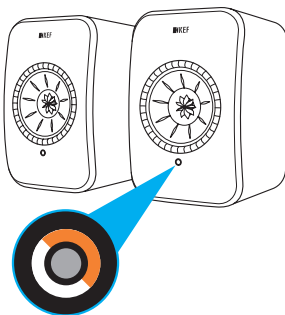
2. プライマリスピーカーの背面にあるAC入力コネクタ (A) に電源ケーブルを接続してください。

A AC



3. 電源プラグを電源ソケット/コンセントに接続してください。

電源に接続すると、プライマリスピーカーのLED表示ランプが白色とオレンジ色に点滅します。KEF Connectアプリを介して、スピーカーがお使いのWi-Fiネットワークに「オンボード (onboarded)」する準備が整いました (「Onboarding (オンボーディング)」の章をご参照ください)。



4.3 Onboarding (オンボーディング)

4.3.1 KEF Connectアプリのインストール

KEF Connectアプリをお使いのモバイルデバイスにインストールし、スピーカーをお使いのWi-Fiネットワークに「オンボード (onboarded)」します。

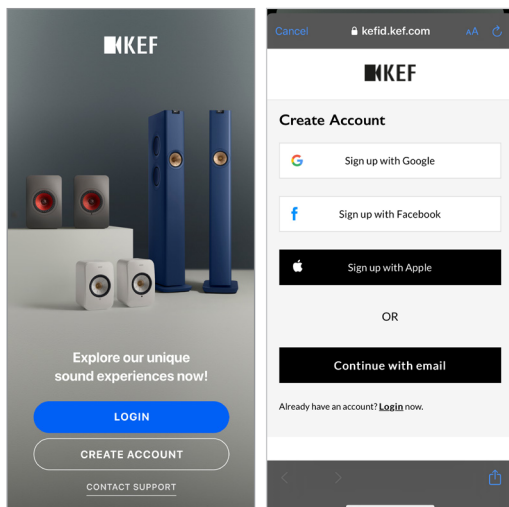
1. AppStoreまたはGooglePlayストアで「KEFConnect」を検索し、お使いのiOS* またはAndroid** デバイスにKEF Connectアプリをダウンロードとインストールを行います。



Q KEF CONNECT



2. お使いのデバイスでKEF Connectアプリを起動し、ユーザーアカウントを作成します。Facebook、Google、またはAppleのいずれかにアカウントをお持ちでしたら、そちらでログインするか、またはお使いのメールアドレスでKEFアカウントを新規に作成することも出来ます。



* iOS 14以降のタイプが必要です。最新の要件についてはApple Storeをご参照ください。(変更される可能性もございます)

** Android 10以降のタイプが必要です。最新の要件についてはGoogle Playをご参照ください。(変更される可能性もございます)

4.3.2 iOSデバイスの使用

1. お使いのモバイルデバイスがスピーカー搭載のネットワークに接続されていることを確認します。
2. お使いのモバイルデバイスでKEF Connectアプリを起動し、ログインします。
3. 「Speakers nearby (近くのスピーカー)」の下にある「LSX II LT」を選択します。

警告サイン (⚠️) が表示された場合、スピーカーはまだ設定できていません。この警告マークが付いているスピーカーを選択し、「オンボード (onboarded)」します。

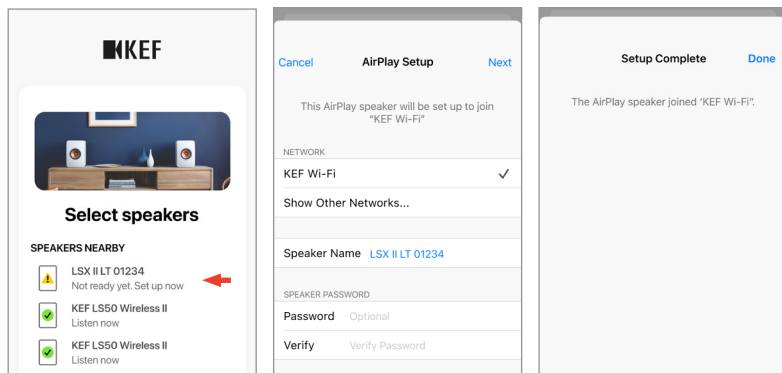
チェックマーク (✅) が表示された場合、スピーカーは使用できます。このアイコンが表示された場合、スピーカーは既にオンボードされているか、あるいはケーブルを介してネットワークに直接接続されています。

4. ローカルWi-Fiネットワークを選択します。「Next (次へ)」を押し、オンボーディングプロセスを開始します。

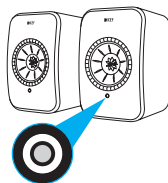
スピーカーの名前を変えたい場合は、「Speaker name (スピーカー名)」をタップします。

5. オンボーディングプロセスが自動的に行われます。プロセスが完了したら、「Done (完了)」をタップします。

[ステップ3-5]



- ・スピーカーが正常に接続されると、プライマリスピーカーのLED表示ランプが、白く一瞬点灯したのち消えます。

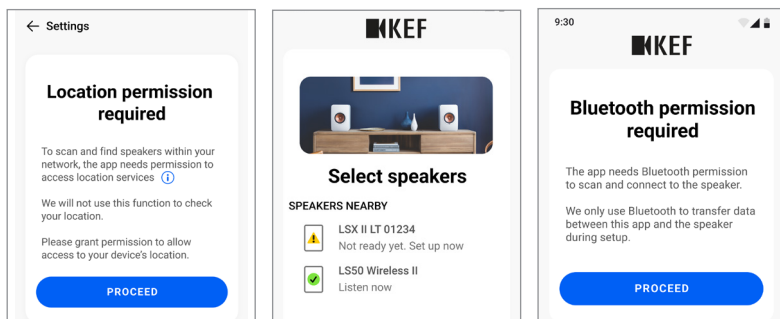


- ・接続に成功すると、新しいファームウェアのアップデートが利用可能かどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。KEF Connectアプリの指示に従い、アップデートプロセスを完了します。

4.3.3 Androidデバイスを使用する場合

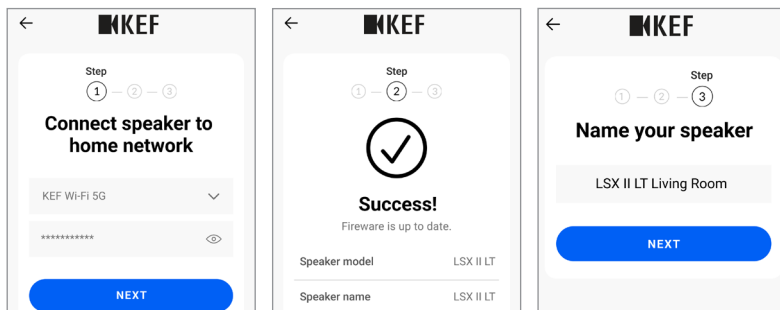
1. お使いのモバイルデバイスがローカルWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。
2. お使いのモバイルデバイスでKEF Connectアプリを起動してログインします。
3. リクエストに応じて、KEF Connectアプリがお使いのモバイルデバイスの場所にアクセスできるようにして下さい。
4. 「Speakers nearby (近くのスピーカー)」の下にある「LSX II LT」を選択します。
警告サイン (⚠️) が表示された場合、スピーカーはまだ設定できていません。
チェックマーク (✅) が表示された場合、スピーカーは使用できます。
5. アプリがデバイスのBluetoothにアクセスすることを許可してください。

[ステップ3-5]



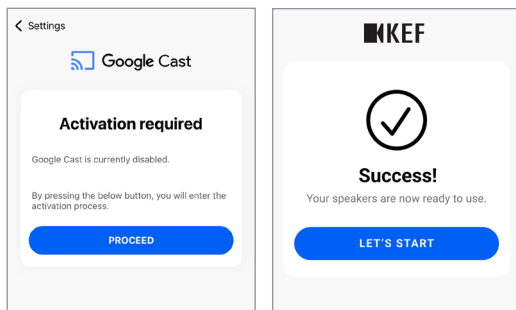
6. 「Choose a Wi-Fi network (Wi-Fiネットワークを選択)」を押してください。
7. ローカルWi-Fiネットワークを選択し、「OK」を押してください。
8. お使いのWi-Fiネットワークのパスワードを入力し、「Next (次へ)」を選択してください。
9. 接続プロセスは自動的に完了します。プロセスが完了したら「Next (次へ)」を選択してください。

[ステップ8-9]

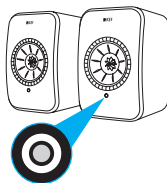


10. 新しいバージョンが利用可能な場合、ファームウェアを更新する必要があるかもしれません。更新が完了したら「Next (次へ)」を選択してください。
11. お好きな名前をスピーカーに設定し、「Next (次へ)」を選択してください。選択された名前はWi-FiとBluetoothの接続に使用されます。
12. Google Castを有効にするか後程セットアップするか「Settings (設定)」内で行ってください。
13. 「Let's Start (始めましょう)」を選択し、スピーカーをお楽しみください。

[ステップ12-13]



- スピーカーが接続されると、プライマリスピーカーのLED表示ランプが白色に一瞬点灯して消えます。



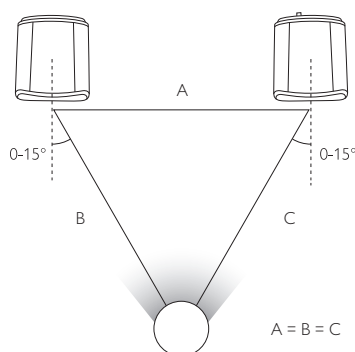
- 接続に成功すると、新しいファームウェアアップデートが利用可能かどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。KEF Connectアプリの指示に従い、更新プロセスを完了します。

4.4 スピーカーの配置と接続

- ・スピーカーは、振動のない平らで水平な面に配置する必要があります。
- ・2つのスピーカーは、プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーとして区別されます。初期設定では、プライマリスピーカーは右側のチャンネル*で、スピーカーに向かって右側に配置される設定となっています。最高のステレオ体験とサウンドステージ、そして安定した接続のために、スピーカーは8メートル以内に配置して下さい。

*左右のチャンネルはKEF Connectアプリを介して交換できます。「[スピーカーシステムのオプション - 左/右スピーカーの反転](#)」の章をご参照ください。

- ・スピーカーとリスナー間の最適な距離は、プライマリスピーカーとセカンダリスピーカー間の距離によって決まります。それぞれのスピーカーとリスナーとの間に正三角形ができるように同じ距離を取ることをお勧めします。



- ・もしより長いスピーカーケーブルが必要な場合、C-Link Interspeaker ケーブルがおすすめです。

i 2台のスピーカー間の最大距離

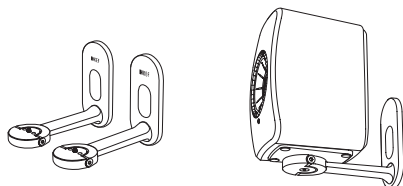
提供された3メートルのUSB-C Interspeakerケーブルを使用するか、別途8メートルのC-Link Interspeakerケーブルを入手してください。ケーブルの長さは8メートル以内である必要があります。

4.5 設置用機器

設置用機器（別売）を使用することで、視聴環境に合わせた設置方法の選択肢が広がります。製品の詳細については、[KEFのWebサイト](#)をご覧ください。

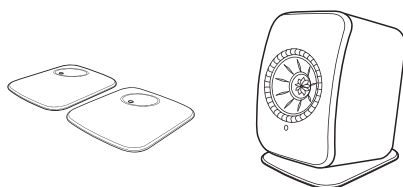
4.5.1 壁面ブラケット

取り付けたスピーカーは、左右90°、下向きに40° 向きを変えることができます。



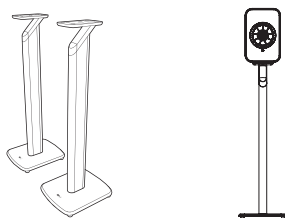
4.5.2 デスクパッド

スピーカーをテレビの横、本棚の上、キャビネットの中などに配置して、デスクトップ・スピーカーのペアとして使用するのに最適です。



4.5.3 床面スタンド

本製品は、本体にケーブルマネジメントシステムを搭載し、スピーカーに最適なサウンド環境を作りだします。



▲警告!

スタンドからのスピーカーの落下や転倒は、怪我や物的損壊につながる可能性がありますのでご注意ください。

4.6 Wi-Fiなしで設定する方法

4.6.1 非Wi-Fi モード

スピーカーをWi-Fiネットワークなしで設定することができます。ただし、これによりスピーカーの操作と機能が制限されます。また、Wi-Fi接続がない場合、KEF Connectアプリの重要なアップデートや機能が見逃される可能性があります。

1. プライマリスピーカーの背面にあるAC入力コネクタに電源ケーブルを接続してください。プライマリスピーカーのLEDインジケータが白とオレンジで点滅します。
2. リモコンをプライマリスピーカーに向けてください。
3. プライマリスピーカーのリモコンのミュートボタンを5秒間押し続けてください。プライマリスピーカーのLEDインジケータが青とオレンジで点滅することで、Wi-Fiモードが無効になります。

このモードでは、Bluetooth、TV、Optical、およびUSBモードにアクセスできます。

Wi-Fi接続を再開するには、スピーカーをリセットする必要があります。「[Resetting to Factory Defaults \(工場出荷時の設定にリセット\)](#)」の章をご参照ください。

4.6.2 非ワイヤレスモード

スピーカーをWi-Fiネットワークなしで設定することができます。ただし、これによりスピーカーの操作と機能が制限されます。また、Wi-Fi接続がない場合、KEF Connectアプリの重要なアップデートや機能が見逃される可能性があります。

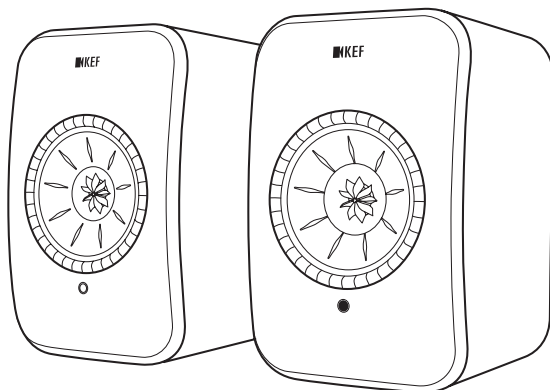
1. Wi-Fi接続なしで設定にはプライマリスピーカーの背面にあるAC入力コネクタに電源ケーブルを接続してください。プライマリスピーカーのLEDインジケータが白とオレンジで点滅します。
2. リモコンをプライマリスピーカーに向けてください。
3. プライマリスピーカーのリモコンのPlay/Pauseボタンを5秒間押し続けてください。プライマリスピーカーのLEDインジケータが青とオレンジで点滅することで、Wi-FiとBluetoothモードが無効になります。

このモードでは、TV、Optical、およびUSBモードにアクセスできます。

Wi-FiとBluetooth (Bluetooth) 接続を再開するには、スピーカーをリセットする必要があります。「[Resetting to Factory Defaults \(工場出荷時の設定にリセット\)](#)」の章をご参照ください。

5. 接続およびインターフェースのコントロール

5.1 フロントパネル



セカンダリスピーカー

プライマリスピーカー

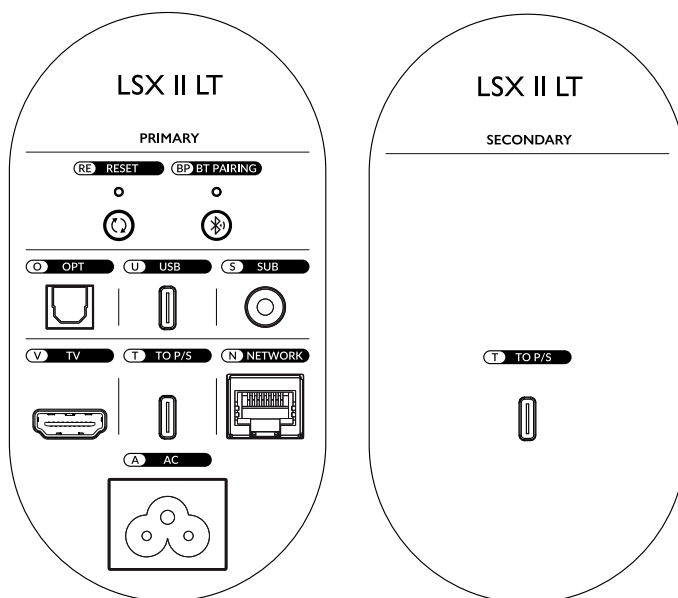
- LED 表示ランプは、スピーカーのUni-Qドライバー（スピーカーコーン）の下にあります。
- リモコン用IR（赤外線）受信部は、プライマリスピーカーのLED表示ランプの箇所にあります。



セカンダリスピーカーのLED表示ランプは、以下の場合にのみ点灯します：

- セカンダリスピーカーをはじめて電源に接続し、正しく動作した時。LED表示ランプは、一瞬オレンジ色に点灯したのち消えます。
- エラーが発生した場合。
- 通常の使用時には、セカンダリスピーカーのLED表示ランプは点灯しません。

5.2 バックパネル



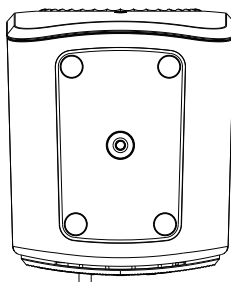
図の通り操作ボタンと接続ポートは各スピーカーのバックパネルに配置されています。

RE 工場出荷時設定リセットボタン	スピーカーを工場出荷時の状態にリセットします（ネットワーク設定とすべてのEQ、およびシステム環境設定を含みます）。ボタンの上のインジケータライトが点滅するまでボタンを押し続けてください。
BP Bluetoothペアリングボタン	Bluetoothペアリングを有効にします。スピーカーが新しいデバイスとペアリングする準備ができています。Bluetoothに接続されたデバイスはすべて切断されます。
O 光デジタル入力ジャック	光デジタルケーブルを介して、ソース（Blu-rayプレーヤー、CDプレーヤーなど）からのオーディオ入力を再生します。
U USBポート（タイプC）	パソコンから入力された音声の再生や、KW-1ワイヤレスキットの充電*に使用。 *KEF ConnectアプリでUSB充電機能の動作設定が必要となります。USB音声入力機能は無効になります。
S サブウーファー出力ジャック	RCAケーブルを介してサブウーファーをスピーカーに接続します。
V TVポート	HDMIケーブルを介して、ソース（テレビのARCポートなど）からのオーディオ入力を再生します。

T プライマリ/セカンダリ接続ポート	プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーがインタースピーカーケーブルで接続されます。
N ネットワークポート	LANケーブルでスピーカーをルーターに接続します。このポートは黄色に色分けされています。
A AC入力コネクタ	電源ケーブルでスピーカーを電源に接続します。

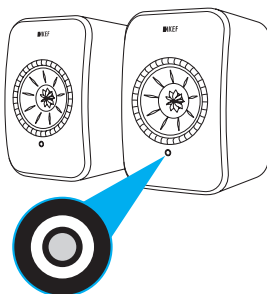
5.3 底面パネル

- 各スピーカーの底面パネルにはゴム製の脚が付いており、スピーカーを硬い面に置いても滑りにくい加工が施されています。
- さらに、さまざまな機器に取り付けるためのネジ穴 (1/4-20 UNC) が付いています (「設置用機器」の章を参照)。



5.4 LED 表示ランプ

スピーカーの接続状態や動作状況は、プライマリスピーカーのLED表示ランプの色やパターンで簡単に確認することができます。



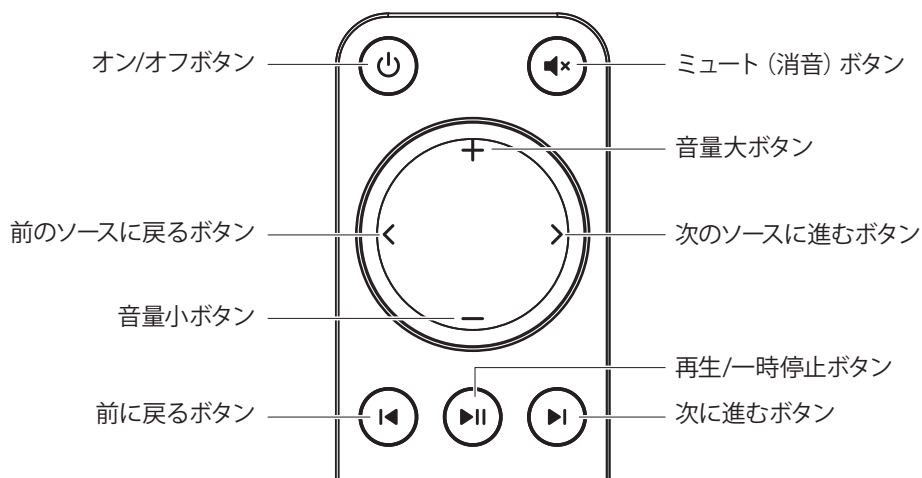
パターン	動作状況
 白色とオレンジ色の点滅	スピーカーがWi-Fiネットワークに接続できる状態です。KEF Connectアプリを起動し、スピーカーを設定します
 オレンジ色*	スピーカーはスタンバイモードで、Wi-Fiネットワークに接続済み
 白色*	Wi-Fi モード作動中
 緑色*	Spotify Connectの接続モード作動中
 青色*	Bluetooth モード作動中で、デバイスがすでに接続済み
 水色*	TV モード作動中
 紫色*	Optical モード作動中
 ピンク色*	USB モード作動中

* LED表示ランプは、再生や 音量調整など、スピーカーの操作がない場合、短く点灯したのち消えます。



すべての色とパターンにつきましては、「[LED 表示ランプ](#)」の章をご参照ください。

5.5 リモコン



- リモコンを使用する前に、単4電池2本を電池ケースに入れます。これを行うには、背面の電池ケースのカバーをスライドして開き、極性 (+/-) に従って電池ケースに電池をセットします。電池を入れたら、電池ケースを閉めます。
- リモコンをプライマリスピーカーのフロントパネルにあるIR (赤外線) レシーバーに向けます。スピーカー使用中は、リモコンとプライマリスピーカーの間に障害物がないことを確認してください。
- リモコンの反応が鈍い、または機能しない場合は、電池残量が少ない可能性があります。電池を交換して、確認してください。

5.6 KEF Connectアプリ

KEF Connectアプリを使用すると、スピーカー設定、サウンド設定の適用、スピーカーの電源オン/オフ、サウンドソースの切り替え、ストリーミング音楽やメディアサーバーに保存されている音楽へのアクセスと再生を行うことができます。



詳細については、「[KEF Connectアプリの使用](#)」の章をご参照ください。

6. Wi-Fiストリーミング

6.1 ワイヤレスストリーミング・プロトコル



オーディオをスピーカーにストリーミングするには、お使いのモバイルデバイスがスピーカーと同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。スピーカーは、すべてのワイヤレスストリーミング・プロトコルを介してスタンバイモードから電源をオンにすることができます。

6.1.1 AirPlay

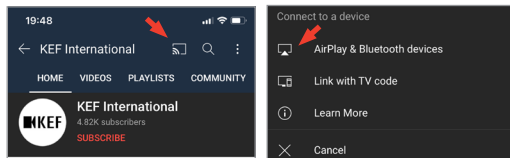
AirPlayを使用すると、Appleデバイスからスピーカーにオーディオ出力を共有できます。



1. お使いのiOSデバイスで音楽またはビデオの再生を開始します。
2. 音楽ストリーミングの場合は、再生画面のAirPlayアイコン () をタップします。



YouTubeアプリからのオーディオストリーミングの場合は、再生画面の接続アイコン () をタップしてから、AirPlayアイコン () をタップします。



3. 選択メニューから「LSX II LT」(またはスピーカー用に作成した名前)を選択して、ストリーミングを開始します。



- ・アプリの互換性によってはストリーミングを利用できない場合があります。
- ・LSX II LTは、AirPlayに対応したプレミアムスピーカーです。LSX II LTをAirPlayで使用するには、最新バージョンのiOS、iPadOS、またはmacOSのご使用をおすすめします。

6.1.2 Google Cast

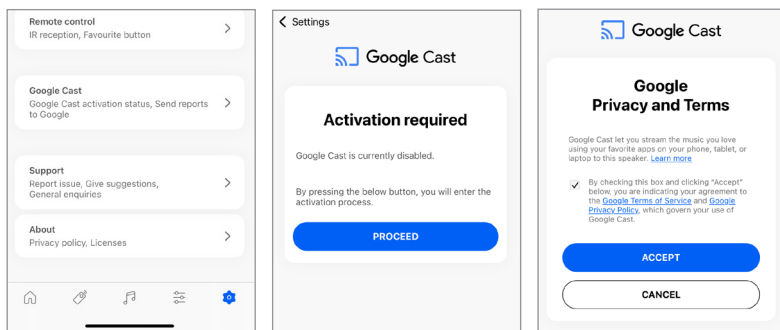
お使いのデバイスでGoogle Castが有効になっている場合は、デバイスからスピーカーにオーディオ出力をストリーミングできます。



Google Castを有効にする方法:

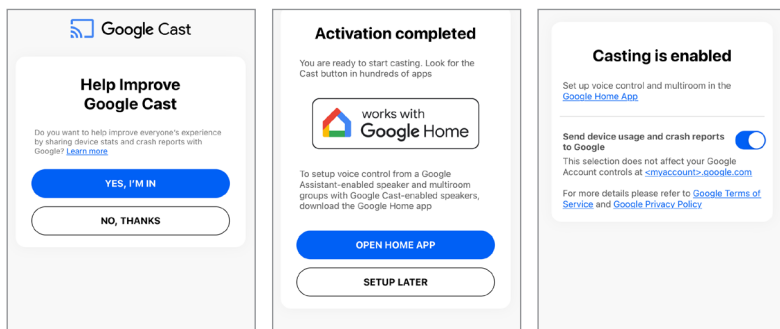
1. KEF Connect Appの「Settings (設定)」で「Google Cast」を選択してください。
2. 「Proceed (次へ)」を選択してください。
3. 「利用規約に同意してください」のメッセージが表示されたら、「Accept (同意する)」を選択してください。

[ステップ1-3]



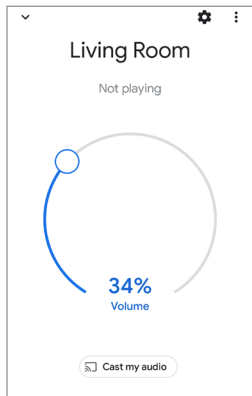
4. デバイスの統計情報とクラッシュレポートを共有するかどうかを決定し、対応するオプションを選択してください。
5. 有効化が完了したら、「Open Home App (ホームアプリを開く)」または「Setup Later (後で設定)」を選択してください。
6. これでストリーミングが有効になりました。

[ステップ4-6]



音声出力をストリーミングする方法：

1. お使いのGoogle Cast対応デバイスで音楽またはビデオの再生を開始します。
2. Google Homeアプリで、「LSX II LT」（またはスピーカー用に作成した名前）をタップします。
3. 「 Cast my audio（音声をキャスト）」をタップします。



- アプリの互換性によってはストリーミングが利用できない場合があります。
- 最新の Google Homeアプリの動作は、上記と異なる場合があります。

6.1.3 音楽ストリーミングアプリのネイティブプロトコル

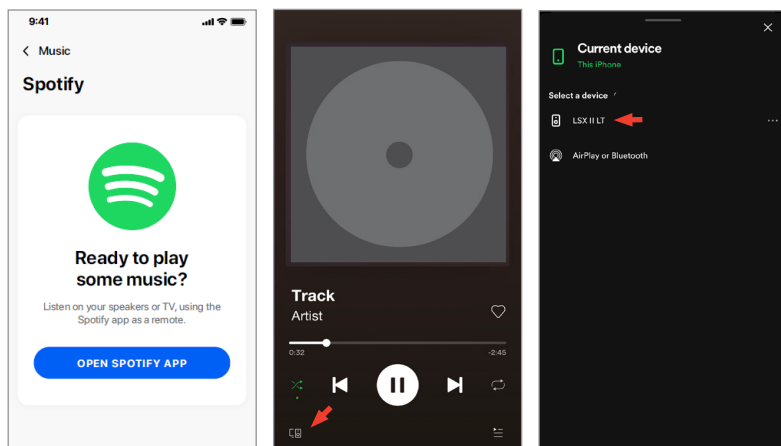
6.1.3.1 Spotify Connect



Spotifyは、世界中のアーティストの何百万もの曲やその他のコンテンツにアクセスできるデジタル音楽およびPodcastストリーミングサービスです。スピーカーはSpotify Connectに対応しています。

1. Spotifyアプリを開いて閲覧し、聞きたい音楽を選択して再生します。
2. 再生画面の下部にあるデバイスアイコン(🔊)をタップします。
3. 選択メニューから「LSX II LT」(またはスピーカー用に作成した名前)を選択して、ストリーミングを開始します。

[ステップ1-3]

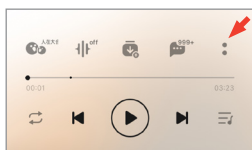


6.1.3.2 QPlay



QQ Musicは、中国で最も人気のあるオンラインミュージックストリーミングサービスの1つです。QPlayを使用すればQQ Musicアプリから直接音楽をストリーミングできます。スピーカーはQplay機能に対応しています。

1. 音楽をストリーミングするには、QQ Musicアプリを起動して、設定でQPlayを有効にします。
2. 聞きたい音楽を検索し、再生します。
3. 再生画面でオプションアイコン(:)を選択してください。



4. 「Streaming(ストリーミング)」アイコンを選択し、指示に従ってストリーミングを開始してください。



6.1.3.3 TIDAL Connect

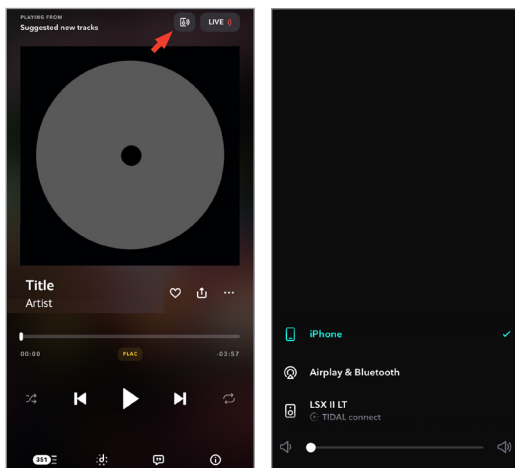
TIDAL connect

TIDALは、ロスレスオーディオおよび高解像度ミュージックビデオと音楽に関する独占コンテンツや特集を組み合わせた、サブスクリプションベースの音楽、ポッドキャスト、ビデオのストリーミングサービスです。

スピーカーは、音楽ストリーミング用のTIDAL Connect機能に対応しています。

1. 音楽をストリーミングするには、TIDAL Connectアプリで再生したいコンテンツを選択し、「Now Playing (再生中)」画面で接続アイコン () を選択します。
2. 近くのデバイスのリストから「LSX II LT」(またはスピーカー用に作成した名前) を選択し、TIDAL Connectアプリとペアリングしてストリーミングを開始します。

[ステップ1-2]



6.1.4 KEF Connect アプリでのストリーミング



KEF Connectアプリを使用すると、スピーカーからさまざまな音楽ストリーミングサービスに直接アクセスして、音楽を再生できます。詳細は、「[音楽ストリーミングサービスから音楽を再生する](#)」の章をご参照ください。

6.1.4.1 Amazon Music



Amazon Musicは、Amazon社が運営する音楽ストリーミングプラットフォームおよびオンラインミュージックストアです。KEF Connectアプリからお使いのAmazon Musicのアカウントにアクセスして、スピーカーに音楽をストリーミングできます。Amazon Music Unlimitedのご利用で、ハイレゾ音源にも対応。

6.1.4.2 Deezer



Deezerはオンライン音楽ストリーミングサービスです。これにより、ユーザーはオンラインまたはオフラインのさまざまなデバイスで、幅広いレコードレーベルの音楽コンテンツを鑑賞できます。KEF Connectアプリからお使いのDeezerのアカウントにアクセスし、スピーカーに音楽をストリーミングできます。

6.1.4.3 Qobuz



Qobuzは、サービス購読者に高解像度ストリーミングを提供する音楽ストリーミングおよびダウンロードサービスです。KEF Connectアプリからお使いのQobuzのアカウントにアクセスして、スピーカーに音楽をストリーミングできます。

6.1.4.4 Spotify



KEF Connectアプリを介して、スピーカーに音楽をストリーミングできるよう、お使いのデバイスでSpotifyアプリを開くよう求められます。「[Spotify Connect](#)」の章をご参照ください。

6.1.4.5 TIDAL



TIDALは、ロスレスオーディオおよび高解像度ミュージックビデオと音楽に関する独占コンテンツや特集を組み合わせた、購読ベースの音楽、ポッドキャスト、ビデオのストリーミングサービスです。KEF ConnectアプリからTIDALアカウントにアクセスして、ハイレゾ（高解像度）音源を再生できます。なお、本サービスの利用には、有効なHi-Fiサービスプランの購読が必要です。

6.1.4.6 インターネットラジオ

KEF Connectアプリの使用で、世界中の何千ものインターネットラジオ局にアクセスし、音楽、ニュース、ディスカッションにアクセスすることができます。

6.1.4.7 ポッドキャスト

KEF Connectアプリの使用で、膨大な数のジャンルとトピックを網羅した、さまざまなポッドキャストへアクセスできます。

6.1.5 UPnP再生

接続先メディアサーバー上の音楽ライブラリに保存されている互換性のある音楽ファイルを再生できます（例：uPnP経由のNASドライブなど）。メディアサーバーとスピーカーは同じネットワーク上にある必要があります。

6.2 ストリーミングプロトコルを選択するためのヒント

お使いのモバイルデバイスで音楽/メディアアプリを使用するにあたり、最適なワイヤレスストリーミングのための推奨オプションは以下の通りです。

アプリ	ワイヤレスストリーミング・プロトコル				
	AirPlay	Google Cast	音楽ストリーミングアプリの ネイティブプロトコル	KEF Connect App	Bluetooth
Spotify	✓	✓	Spotify Connect ✓	–	✓
TIDAL	✓	✓	TIDAL Connect ✓	✓	✓
QQ Music	✓	✓	QPlay ✓	–	✓
Apple Music	✓	✓	–	–	✓
Amazon Music	✓	✓	–	✓	✓
Deezer	✓	✓	–	✓	✓
Qobuz	✓	✓	–	✓	✓
インターネット ラジオ	✓	✓	–	✓	✓
オーディオポッド キャスト	✓	✓	–	✓	✓
Youtube (オーディオ)	✓	✓	–	–	✓
Youtube Music	✓	✓*	–	–	✓

✓ = サポートあり

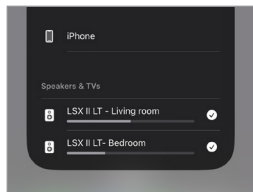
✓ = 最高のオーディオクオリティと安定したストリーミングのため、サポートがあるこの組み合わせによる鑑賞を推奨します。

* Youtube Music Premiumアカウントでのみ利用可

7. マルチルームストリーミング

7.1 AirPlay

Apple AirPlayは、マルチルームワイヤレスミュージックシステムをiOSデバイス上で管理し、スピーカーをそのシステムに組み込むことができます。同じネットワーク上にAirPlayを使用するスピーカーのペアが2つ以上接続されている場合は、同じオーディオ出力を同時に再生するスピーカーのペアを選択します。



スピーカーの音量は、個別に、またはグループとしてまとめて管理できます。

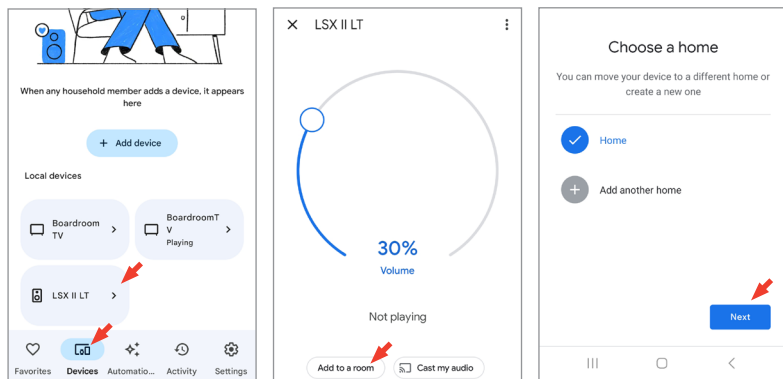
注: Legacy AirPlay (AirPlay 1) スピーカーは、マルチルームストリーミングには対応していません。

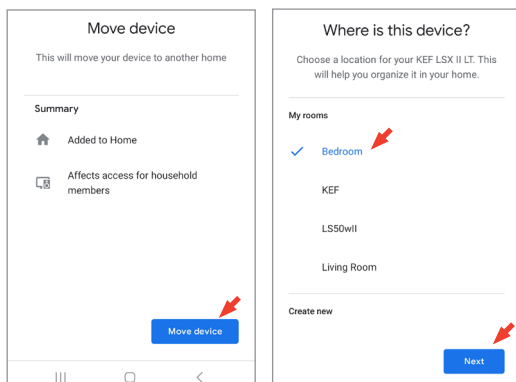
詳しいサポート内容については、[Apple](#) へお問い合わせください。

7.2 Google Cast

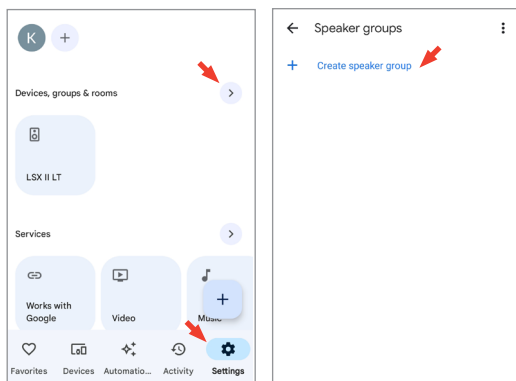
スピーカーとGoogle Castデバイスをグループ化して、家全体で音楽を同期再生することができます。

1. Google キャストの要件を受け入れていることを確認してください。
2. スピーカーと同じWi-Fiネットワークに接続されているか、スピーカーと同じアカウントにリンクされているかを、お使いのモバイルデバイスでご確認ください。
3. Google Homeのアプリを開いてください。
4. アプリの指示に従って「LSX II LT」を「Home (ホーム)」に追加してください。

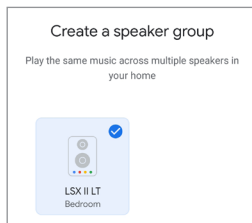




5. 「Settings (設定)」をタップし、次に「Devices, groups and rooms (デバイス、グループ、および部屋)」内の「>」アイコンを選択してください。



6. グループに追加したい各デバイス(スピーカーのセットを含む)をタップします。選択した各デバイスの横にチェックマークが表示されます。



7. 「Next (次へ)」をタップします。
8. グループの名前を入力します。

Name this speaker
group

You'll use this name when you ask Google
Assistant to play music

Home Group

9. 「Save (保存)」をタップします。

8. モバイルデバイスを介した音声コントロール

8.1 Siri

お使いのiOSモバイルデバイスがスピーカーに音楽をストリーミングしている間、Siriを使用して再生のコントロールができます（トラックのスキップ、音量レベルのコントロールなど）。



8.2 Googleアシスタント

お使いのAndroidモバイルデバイスがスピーカーに音楽をストリーミングしている間、Googleアシスタントを使用して再生のコントロールができます（トラックのスキップ、音量レベルのコントロールなど）。

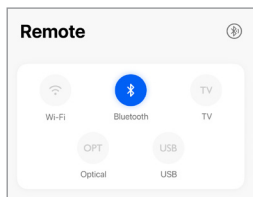


9. Bluetoothでの再生

Bluetooth接続を介して、お使いのBluetoothデバイス（コンピューターなど）をスピーカーとペアリングできます。Bluetooth接続の前に、スピーカーは必ずお使いのローカルネットワークに接続しておく必要があります。

9.1 Bluetoothモードの選択

- KEF Connectアプリで、Bluetoothボタン（)をタップしてBluetoothモードに切り替えます。



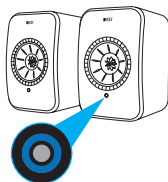
- または、リモコンのソースボタンを押します。



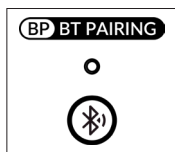
Bluetoothモードを2番目のウェイクアップソースとして選択することで、Bluetooth接続を介したオーディオ入力がある時に、自動的にスピーカーの電源をオンにすることができます。「[電源オプション - 2番目のウェイクアップソース](#)」の章をご参照ください。

9.2 Bluetoothのペアリング設定

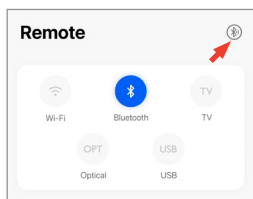
1. Bluetoothモードで、プライマリスピーカーのLED表示ランプを確認します。LED表示ランプが青色にパルス点灯している場合、スピーカーは検出モード状態にあり、Bluetoothデバイスとペアリングする準備ができています。



LED表示ランプが、青色に一瞬点灯したのち消えた場合は、スピーカーがすでにBluetoothデバイスとペアリングされていることを示します。接続中のBluetoothデバイスの接続を切断する場合は、プライマリスピーカーのバックパネルにあるBluetoothペアリングボタン（BP）を短く押します。新規のBluetoothデバイスとのペアリング準備ができると、Bluetoothアイコンがゆっくり点滅します。



または、KEF Connectアプリのリモコンの右上にあるBluetoothペアリングアイコンを押して、ペアリング中のデバイスを切断します。



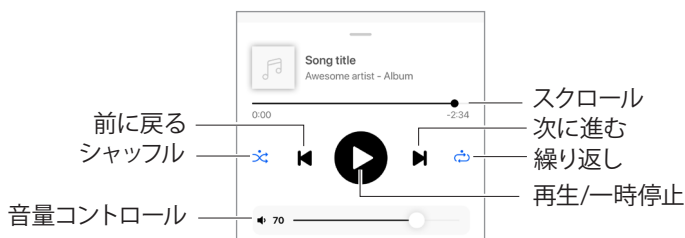
- お使いのデバイスのBluetooth機能をオンにし、ペアリングできるデバイスのリストから「KEF LSX II LT」（またはスピーカー用に作成した名前）を選択します。

Bluetoothペアリングが完了すると、Bluetoothアイコンが点灯します。

- i** スピーカーは、最後にペアリングしたBluetoothデバイスを記憶しています。Bluetoothモードが一度選択されると、最後にペアリングされたお使いのデバイスが近くにある場合、スピーカーはそのデバイスに自動的に接続されます。

9.3 再生コントロールについて

KEF Connectアプリでは、再生コントロールに以下の制御ファンクションを使用します。音量調節、「前に戻る」、「次に進む」の機能は、リモコンでも操作可能。



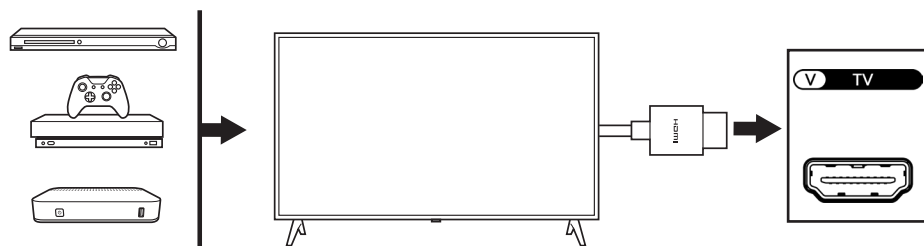
10. HDMI ARC入力での再生

スピーカーは、お使いのテレビのHDMI ARC（オーディオリターンチャンネル）出力と互換性があり、1本のHDMIケーブルで統合された制御ができます。HDMI接続の前に、スピーカーは必ずお使いのローカルネットワークに接続しておく必要があります。

スピーカーは、HDMI CECとも下位互換性があります。HDMI CECの使用で、テレビのリモコンを使ったスピーカーの音量調節ができます。

10.1 HDMIケーブルでの接続

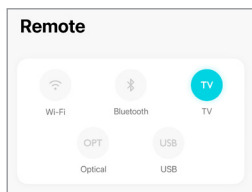
お使いのテレビのHDMI出力ポートとプライマリスピーカーのバックパネルにあるテレビポート（V）をHDMIケーブルで接続します。



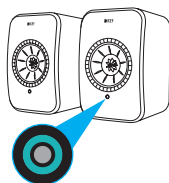
- お使いのテレビのARCポートにHDMIケーブルを接続します。
- お使いのTVの設定で、HDMI設定内のARC、またはCECをオンにします。
- HDMI接続という呼称はメーカーにより異なる場合があります。詳細についてはお使いのテレビのユーザーマニュアルをご参照ください（例：Samsungの場合はAnynet +、LGの場合はSimplinkなど）。
- テレビのデジタルオーディオ出力の設定がPCMに設定されていることを確認してください（Dolby（ドルビー）、Bitstream（ビットストリーム）、Auto（オート）などではありません）。

10.2 TV Mode (TVモード) の選択

- KEF Connectアプリで、TV Mode (TVモード) ボタン (TV) をタップしてTV Mode (TVモード) に切り替えます。



- または、リモコンのソースボタンを押します。
- HDMIケーブルがスピーカーに接続されず、TV Mode (TVモード) が選択されている場合、プライマリスピーカーのLED表示ランプが水色にパルス点灯します。



- プライマリスピーカーのLED表示ランプが、水色に一瞬点灯したのち消えた場合は、すでにHDMI接続が完了していることを示します。

i TV Mode (TVモード) をを2番目のウェイクアップソースとして選択することで、HDMI接続を介したオーディオ入力がある時に、自動的にスピーカーの電源をオンにすることができます。「電源オプション - 2番目のウェイクアップソース」の章をご参照ください。

10.3 再生コントロールについて

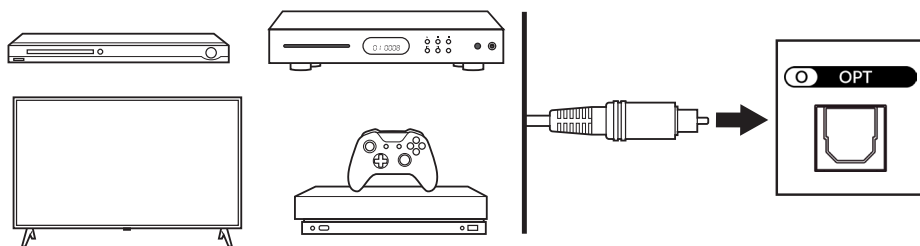
すべての再生コントロール（音量の調節は除く）は、接続されたデバイスで実行する必要があります。音量はリモコンでも調節できます。

11. 光デジタル入力での再生

お使いのデバイスが光デジタル入力端子(TVやゲーム機など)を搭載している場合、光デジタルケーブルを介してスピーカーに接続できます。光デジタル接続の前に、スピーカーは必ずお使いのローカルネットワークに接続しておく必要があります。

11.1 光デジタルケーブルでの接続

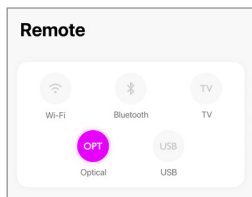
お使いのデバイスの光デジタル出力ジャックとプライマリスピーカーのバックパネルにある光デジタル入力ジャック (O) を光ケーブルで接続します。



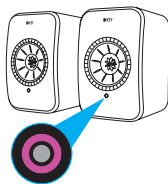
お使いのテレビがPCMフォーマットでデジタルオーディオの出力設定がされていることを確認します。詳細については、お使いのテレビのユーザーマニュアルをご参照ください。

11.2 光デジタルモードの選択

- KEF Connectアプリで、Optical Mode (光デジタルモード) ボタン (OPT) をタップして Optical Mode (光デジタルモード) に切り替えます。



- または、リモコンのソースボタンを押します。
- プライマリスピーカーのLED表示ランプが、紫色に一瞬点灯したのち消えた場合は、Optical Mode (光デジタルモード) が選択されていることを示します。



Optical mode (光デジタルモード) を2番目のウェイクアップソースとして選択することで、光デジタル接続を介したオーディオ入力がある時に、自動的にスピーカーの電源をオンにすることができます。「電源オプション - 2番目のウェイクアップソース」の章をご参照ください。

11.3 再生コントロールについて

すべての再生コントロール (音量の調節は除く) は、接続されたデバイスで実行する必要があります。音量はリモコンでも調節できます。

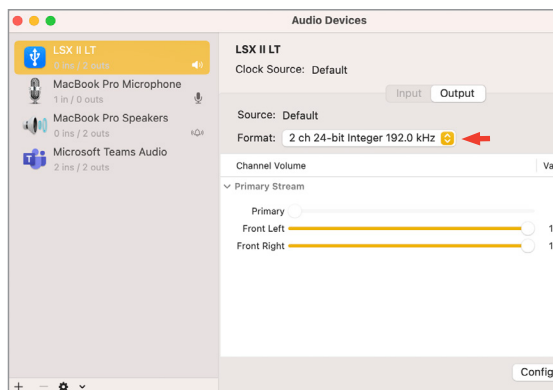
12. USB入力での再生

パソコンとスピーカーは、USB（タイプC）ケーブルを使って接続します。スピーカーは、USB接続する前に、必ず最初にローカルネットワークに接続してください。

この機能は、MacとWindows PCに対応しており、ストリーミングの最大音質は192 kHz / 24 bitです。

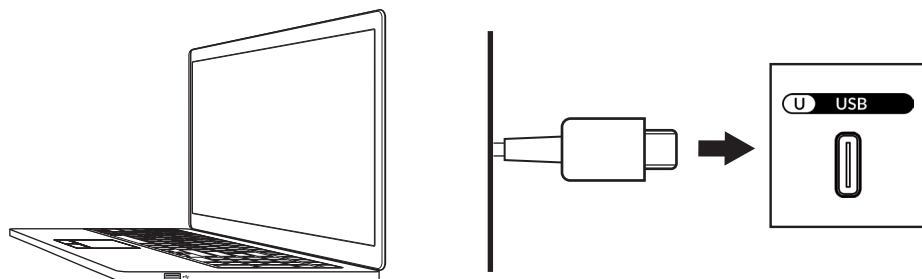
マイクロソフト社は、Windows 7およびWindows 8のサポートを終了しており、最高のUSBオーディオ体験を実現するためには、Windows 10以上の使用を推奨しています。

Mac PCのオーディオ解像度を調整する場合は、「Utilities」メニュー内の「Audio MIDI Setup」からご希望のフォーマットを選択します。



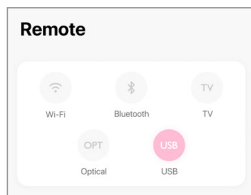
12.1 USB 接続

パソコンとプライマリスピーカー裏面のUSBポート（U）をUSBケーブル（タイプC）で接続します。

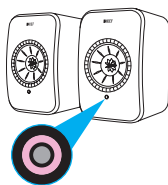


12.2 USBモードの選択

- KEF Connectアプリ内で、USBボタン(USB)をタップして、USBモードに切り換えます。



- または、リモコンのソースボタンを押します。
- プライマリスピーカーのLED表示ランプが、ピンク色に一瞬点灯したのち消えた場合は、USBモードが選択されていることを示します。



USBモードを2番目のウェイクアップソースとして選択することで、USB接続を介したオーディオ入力がある時に、自動的にスピーカーの電源をオンにすることができます。「[電源オプション – 2番目のウェイクアップソース](#)」の章をご参照ください。

12.3 再生コントロールについて

すべての再生コントロール（音量の調節は除く）は、接続されたデバイスで実行する必要があります。音量はリモコンでも調節できます。

13. KEFConnectアプリの使用

KEF Connectアプリを使用すると、スピーカーの設定、EQ設定の適用、スピーカーの電源オン/オフ、音楽ソースの切り替え、音楽ストリーミングサービスへのアクセスと再生を行うことができます。

13.1 ホーム

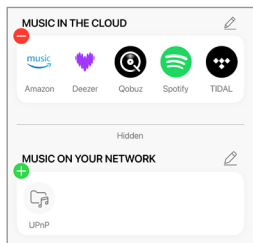
13.1.1 概要



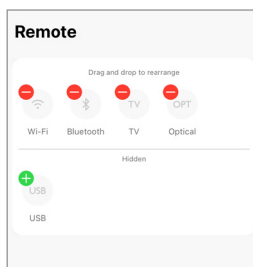
13.1.2 ホーム画面の編集

ホーム画面において、使用頻度の高い/低いボタンやタイル（Music in the Cloud 《クラウド上の音楽》 など）の表示/非表示の編集ができます。

1. アプリの右上にある編集アイコン（✎）をタップします。
2. 「+」または「-」記号をタップ、もしくはドラッグとドロップ操作でタイルを表示または非表示にします。

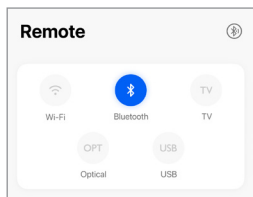


3. タイルの右上にある編集アイコン（✎）をタップします。
4. 「+」または「-」記号をタップ、もしくはドラッグとドロップ操作でタイルを表示または非表示にします。



13.2 リモコン

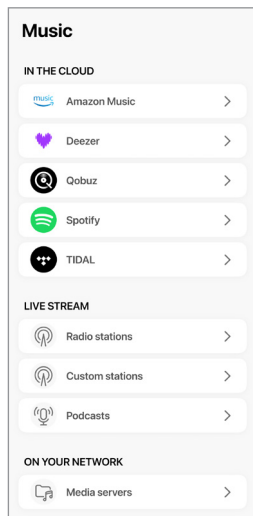
- ・「Remote Control（リモコン）」の下ボタンを使って、特定のソースから直接スピーカーをオンにしたり、または音楽のソースを変更したりすることができます。



- ・スピーカーをオフしたい場合は、使用中のソースボタンをタップします。

13.3 音楽コンテンツ

KEF Connectアプリを使用して、お使いの音楽ストリーミングサービスのほか、インターネットラジオ局やポッドキャストから音楽にアクセスして再生することができます。

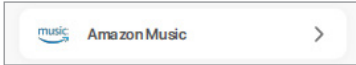


13.3.1 音楽ストリーミングサービスから音楽を再生する

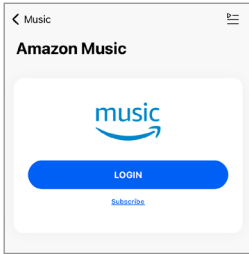
13.3.1.1 Amazon Music



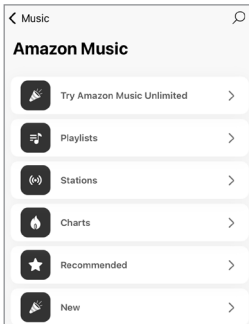
1. 音楽をストリーミングするには、KEFConnectアプリ内の「Music in the Cloud (クラウド上の音楽)」の下にある「Amazon Music」をタップします。



2. お使いのAmazonMusicのアカウントにログインします。



3. 再生したい音楽を検索・再生し、ストリーミングを開始します。



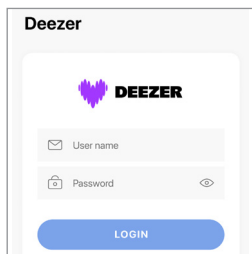
13.3.1.2 Deezer



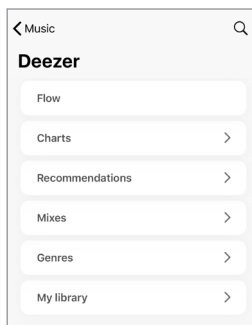
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリ内の「Music in the Cloud (クラウド上の音楽)」の下にある「Deezer」をタップします。



2. お使いのDeezerのアカウントにログインします。



3. 再生したい音楽を検索・再生し、ストリーミングを開始します。



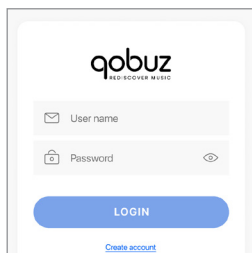
13.3.1.3 Qobuz



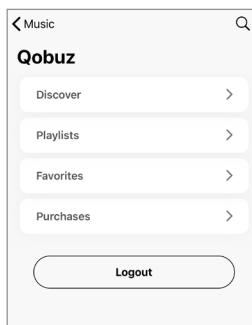
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud (クラウド上の音楽)」の下にある「Qobuz (クーバス)」をタップします。



2. お使いのQobuz (クーバス) のアカウントにログインします。



3. 再生したい音楽を検索・再生し、ストリーミングを開始します。



13.3.1.4 Spotify



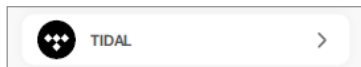
KEF Connectアプリを介して、お使いのデバイスのSpotifyアプリで音楽をスピーカーにストリーミングするよう求められます。「[Spotify Connect](#)」の章をご参照ください。



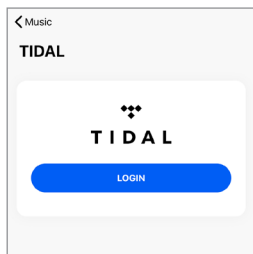
13.3.1.5 TIDAL



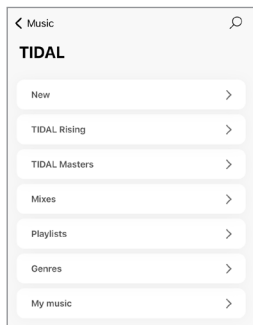
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリ内の「Music in the Cloud (クラウド上の音楽)」の下にある「TIDAL」をタップします。



2. 使いのTIDALのアカウントにログインします。

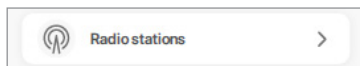


3. 再生したい音楽を検索・再生し、ストリーミングを開始します。

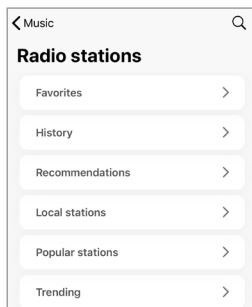


13.3.1.6 インターネットラジオ

1. インターネットラジオにアクセスするには、KEF Connectアプリ内の「Live Stream (ライブストリーム)」の下にある「Radio stations (ラジオ局)」をタップします。

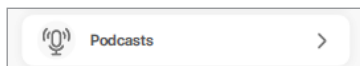


2. 再生したいラジオ局を検索・再生し、ストリーミングを開始します。

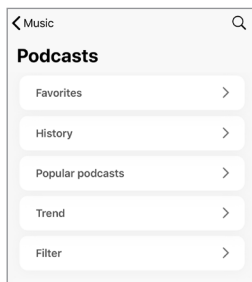


13.3.1.7 ポッドキャスト

1. ポッドキャストのコンテンツにアクセスするには、KEF Connectアプリ内の「Live Stream (ライブストリーム)」の下にある「Podcasts (ポッドキャスト)」をタップします。



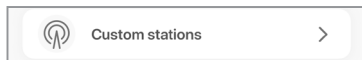
2. 閲覧して聞きたいポッドキャストを再生して、ストリーミングを開始します。



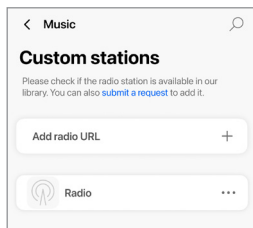
13.3.1.8 カスタムステーション

インターネットラジオでラジオ局が見つからない場合は、簡単にアクセスできるように登録できます。

1. カスタムステーションにアクセスするには、KEF Connectアプリの「Live Stream (ライブストリーム)」内の「Custom Stations (カスタムステーション)」を選択してください。

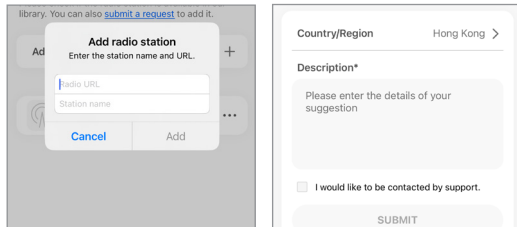


2. 「Add Radio URL (ラジオURLを追加)」を選択してください。

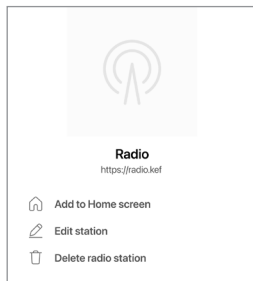


3. ラジオ局のURLとステーション名を入力し、「Add (追加)」を選択してください。登録されたラジオ局は、簡単にアクセスできるように「カスタムステーション」に保存されます。

または、「Submit a request (リクエストを送信)」オプションを選択して追加リクエストを送信してください。



4. 編集が必要な際はカスタムステーションで行ってください。



13.3.2 再生コントロールについて

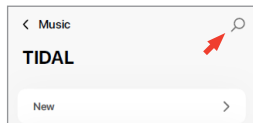
以下の機能は、再生または動作のコントロールに使用できます。これらの機能はすべての音楽ソースで使用できるわけではありません。コントロールインターフェイスで若干の違いがある場合があります。

13.3.2.1 再生画面



13.3.2.2 音楽の検索

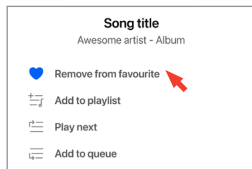
検索アイコン（）をタップして、使用中の音楽ソースでアーティスト、アルバム、または曲を検索します。



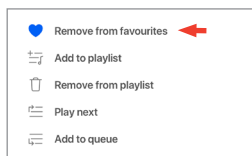
13.3.2.3 お気に入り

- お気に入りの選択または選択解除

再生画面でオプションアイコン (⋮) 内にある、「Add to favourites (お気に入りに追加)」または「Remove from favourites (お気に入りから削除)」を選択し、アイテム (音楽、ポッドキャスト、ラジオ局) をお気に入りに選択または選択解除してください。



または、アイテム (トラック、アルバム、プレイリストなど) の横にあるオプションアイコン (⋮) をタップするか、アイテムを長押しして、「Add to Favourites (お気に入りに追加)」または「Remove from Favourites (お気に入りから削除)」を選択します。



- お気に入りへのアクセス

使用中の音楽ソースでお気に入りに追加したアイテムを表示するには、メインメニューで「Favourites (お気に入り)」をタップします。

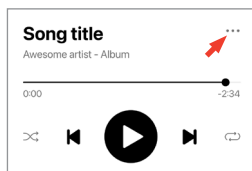


13.3.2.4 トラックリスト

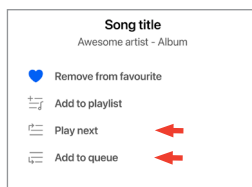
トラックリストにトラックを追加すると、そのトラックは再生中のトラックの後に再生されます。トラックリストは恒久的なリストではないため、保存することはできません。

・ トラックのトラックリストへの追加

1. 再生画面を表示して、画面内のオプションアイコン(…)をタップします。



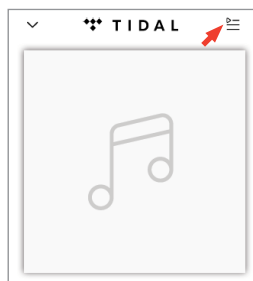
2. Add to Queue (トラックリストに追加)』を選択すると、そのトラックをキューの最後に追加することができます。または、"Play next "を選択すると、そのトラックを次の曲として追加できます。



お好みに応じて、再生リストからアーティストおよびアルバムすべてのトラック、またはすべてのトラックをトラックリストに追加できます。

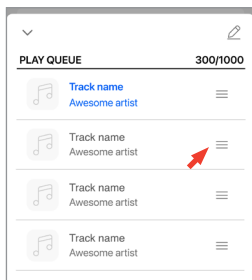
・ 現在のトラックリストの表示

再生画面を開き、画面右上にあるキューアイコン (≡) をタップします。



• トラックリストの編集

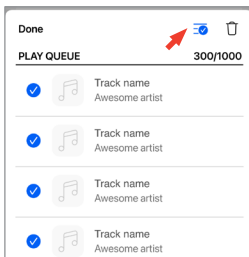
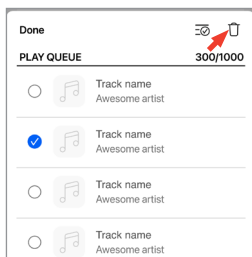
1. 再生順序を編集したい場合は、順序を変更したいトラックの右側にある3つのバー（≡）を押したまま、トラックリスト内で上または下にドラッグします。



2. トラックリストからトラックを削除するには、画面右上の編集アイコン（✎）をタップします。



3. トラックリスト内の削除したいトラックを選択して、ごみ箱アイコン（🗑）をタップしてトラックリストから削除します。複数のトラックを選択し一度に削除することや、全て選択のアイコン（☑）を選択し、一度に全トラックを選択することも可能です。



13.3.2.5 プレイリスト

プレイリストは、自分が好きなサウンドトラック順に並べ替えて再生できる、オリジナル音楽リストです。作成したプレイリストは保存して繰り返し聞くことができます。

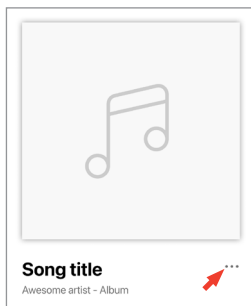
• プレイリストにアクセスする

使用中の音楽ソースのメインメニューで「Playlists (プレイリスト)」をタップします。

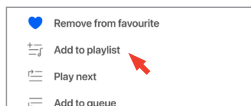


• プレイリストを作成する

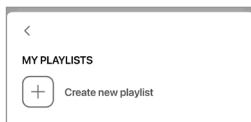
1. トラックのリストまたは再生画面から右側にあるオプションアイコン(⋮)を選択してください。



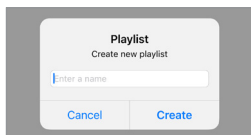
2. 「Add to playlist (プレイリストに追加)」を選択してください。



3. 「Create new playlist (新しいプレイリストを作成)」を選択してください。

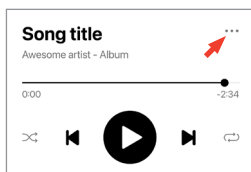


4. プレイリストに名前を付けてから「Create (作成)」を選択してください。

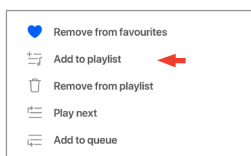


• トラックをプレイリストに追加する

1. トラックのリストまたは再生画面で、画面右上のオプションアイコン(⋮)をタップします。



2. 「Add to Playlist (プレイリストに追加)」を選択します。

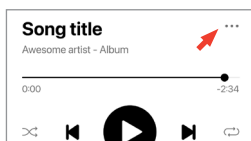


3. トラックに追加したいプレイリストを選択します。

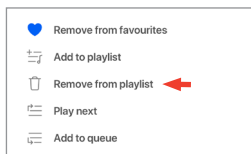
i お好みに応じて、アーティストのすべてのトラック、またはアルバムすべてのトラックをプレイリストに追加することもできます。

• プレイリストを編集する

1. 削除するトラックの再生画面で、オプションアイコン(⋮)をタップします。

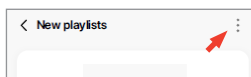


2. 「Remove from playlist (プレイリストから削除)」をタップします。



• プレイリストを削除する

1. プレイリストで、画面右上にあるオプションアイコン(⋮)をタップします。



2. 「Delete playlist (プレイリストの削除)」をタップします。

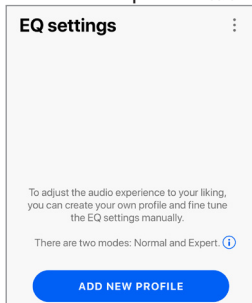


13.4 イコライゼーション

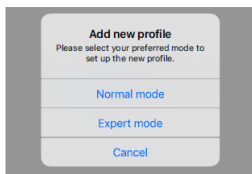
最高のオーディオパフォーマンスを楽しむために、鑑賞エリアに合わせたサウンド設定を行ってください。

13.4.1 Normal Mode（通常モード）

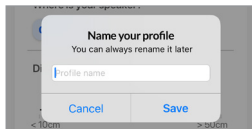
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部のEQ設定アイコン()をタップします。
2. 「Add new profile (新しいプロファイルを追加)」をタップします。



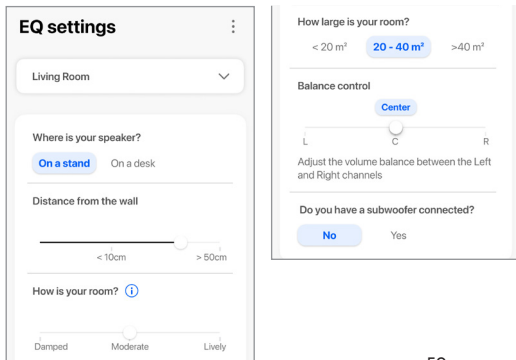
3. 「Normal mode (通常モード)」を選択します。



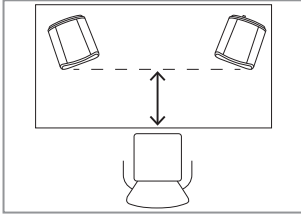
4. 新しいプロファイルの名前を作成し、「Save (保存)」をタップします。



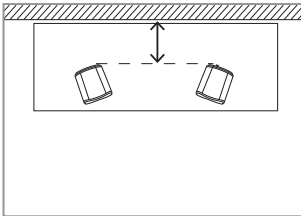
5. 鑑賞エリアに合わせた設定を行ってください。



- Installation location (設置場所): On a stand or on a desk (スタンドやデスクの上)
- Distance from the front edge of the table (on a desk only) (テーブル手前側の端からスピーカーまでの距離 (デスクの上のみ)) (> 50 cm から 0 cm)



- Distance from the wall (壁までの距離) (< 10 cm から > 50 cm)



- How is your room? (スピーカを設置する部屋はどんな部屋ですか?) (Damped / Moderate / Lively (残響が少ない / 中間 / 残響が多い))

Damped (残響が少ない): 大型家具、厚手のカーペット、重く分厚いカーテン



Moderate (中間): 中型家具、薄手のカーペットまたはラグ、カーテン数枚、フィーチャーウォール (壁紙やフォトフレーム、アート作品などで装飾を施した壁)



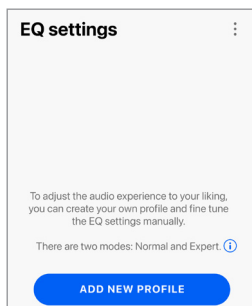
Lively (残響が多い): 堅い床、少ない家具、大きな窓、カーテンなし



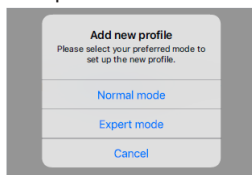
- How large is the room? (スピーカーを設置する部屋の広さは?)
($< 20 \text{ m}^2$ / $20\text{--}40 \text{ m}^2$ / $> 40 \text{ m}^2$)
 - Balance Control (バランス調整) (左L-センターC-右R)
 - Subwoofer is plugged in (サブウーファーが接続されていますか?)(はい/いいえ)
サブウーファーが接続されている場合は、サブウーファーのバランス調整、音量を 設定してください。
6. 設定が終わったら「保存(Save)」をタップします。

13.4.2 Expert Mode (エキスパートモード)

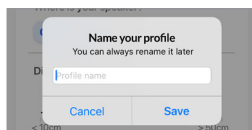
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部にあるEQ設定アイコン(🔊)をタップします。
2. 「Add new profile (新しいプロフィールを追加)」をタップします。



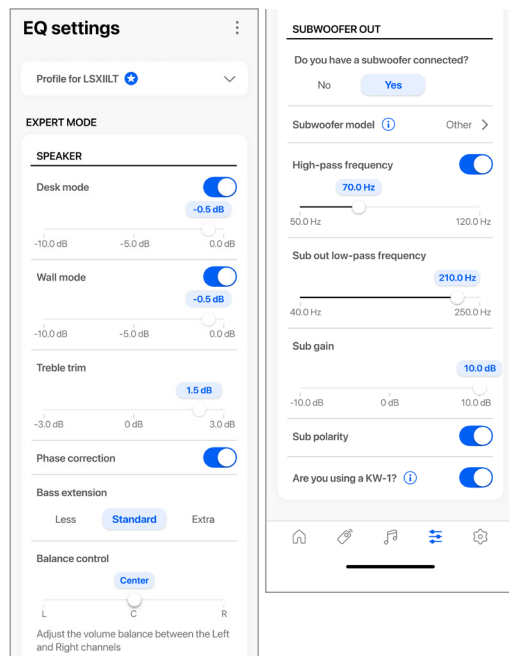
3. 「Expert mode (エキスパートモード)」を選択します。



4. 新しいプロファイルの名前を作成し、「Save (保存)」をタップします。



5. 「Expert Mode (エキスパートモード)」では、EQをより正確に設定できます。



以下の設定をすることができます：

- Desk Mode デスクモード (オン/オフ、-10.0 dB ～ 0.0 dB)
- Wall Mode 壁モード (オン/オフ、-10.0 dB ～ 0.0 dB)
- Treble Trim 高音調整 (-3.0 dB ～ 3.0 dB)
- Phase Correction 位相補正 (オン/オフ)
- Bass Extension 低音拡張 (レス/スタンダード/エクストラ)
- Balance Control バランス調整 (左L-センターC-右R)
- Subwoofer connected サブウーファーが接続されている。(はい/いいえ)
- Subwoofer model サブウーファーのモデル
- High-Pass Frequency ハイパス周波数 (オン/オフ、50 Hz ～ 120 Hz)
- Sub Out Low-Pass Frequency サブアウトローパス周波数 (40 Hz ～ 250 Hz)
- Sub Gain サブゲイン (-10 dB ～ 10 dB)
- Sub Polarity サブ極性 (オン/オフ)
- Are you using a KW-1? KW-1は使用していますか? (はい/いいえ)



主なEQ (イコライザー) 設定

On a desk/distance from the front edge of the table デスクの上/テーブルの手前側の端からの距離 【Expert Mode (エキスパートモード: Desk Mode (デスクモード))】: この設定は、「プレゼンス」領域 (170 Hz +/- 1オクターブ) を調整します。プレゼンス過多だと音は濁り、またプレゼンス不足だと微かで空虚な音になります。

Distance from the wall 壁までの距離 【Expert Mode (エキスパートモード: Wall Mode (壁モード))】: この設定では、すべての周波数を約500 Hzより下に調整するため、Desk Mode (デスクモード) に比べ広範囲に変更されます。このような周波数でのディップは金属的な甲高い音を生じさせますが、逆にこのような周波数が多すぎると、より低い周波数でプレゼンテーション全体を圧倒する可能性があります。

How is your room? スピーカーを設置するのはどんな部屋ですか? 【Expert Mode (エキスパートモード): 高音調整】: この設定では、500 Hzを超える周波数を調整します。残響が少ない部屋 (厚手のカーテン、柔らかな調度品や家具) では音が吸収されたように感じ、また残響が多い部屋 (高い天井、平らな面、ガラス) では音が甲高く感じられることがあります。消音効果を抑えるには重厚感ある場所に移動するか、あるいは甲高い音を抑えるには明るい場所に移動します。

How large is your room スピーカーを置く部屋の広さ 【Expert Mode (エキスパートモード): 低音拡張】: この設定では、スピーカーの低音拡張を調整します。スピーカーを設置する部屋が大きいほど、ロールオフポイントは低くなります。

Balance Control バランス調整: この設定は、左右のスピーカー間の音量バランスを調整することができます。



主なサブウーハー設定

Subwoofer/Speaker Balance サブウーファー/スピーカーのバランス 【Basic Mode (基本モード)】: この設定で、サブウーファーとスピーカー間の低音出力を制御します。スライダーの位置を「Subwoofer (サブウーファー)」側に動かすと、ほとんどの低音出力がサブウーファーによって処理されます。

High-Pass Frequency ハイパス周波数: 設定値を超える周波数はスピーカーで再生されます。

Sub Out Low-Pass Frequency サブアウト ローパス周波数: 設定値を下回る周波数はサブウーファーで処理されます。この設定で、ハイパス周波数とオーバーラップして、全体的なレスポンスにディップやピークを生じさせず、スピーカー/サブウーファーをより効果的に統合することができます。

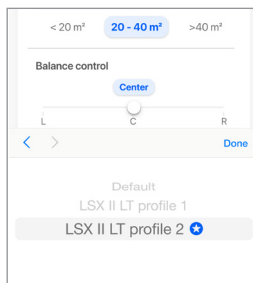
Sub Gain サブゲイン: この設定で、サブウーファーへの信号レベル出力を変更できます。

Sub Polarity サブ極性: 理想としては、スピーカーとサブウーファーは同時に同じ方向に移動させる必要があります。移動させない場合は、周波数がキャンセルされることがあります。サブウーハーの極性を切り替えると、低音のレスポンスがないことがあります。

Are you using a KW-1?: KW-1は使用していますか?: KW-1は信号をワイヤレス送信し、サブウーファーを最適な場所に設置するためのアダプターキットです。KW-1を使用する場合は、このオプションを有効化してください。

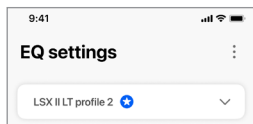
13.4.3 サウンドプロファイルの選択

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部にあるEQ設定アイコン (⚙️) をタップします。
2. 「Default (デフォルト)」をタップして、スピーカーに適用するサウンドプロファイルを選択します。Expert mode (エキスパートモード) で星形アイコンの付いたプロファイルが作成されます。

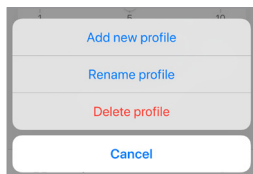


13.4.4 サウンドプロファイルの名前変更

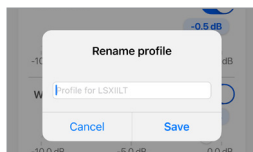
1. 選択したEQプロファイルで、画面右上のオプションアイコン (⋮) をタップします。



2. 「Rename profile (プロファイル名の変更)」をタップします。

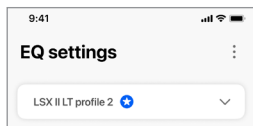


3. プロファイルの新しい名前を作成し、「Save (保存)」をタップします。

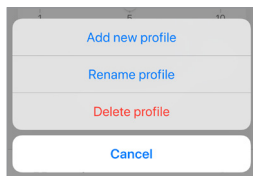


13.4.5 サウンドプロファイルの削除

1. 選択したEQプロファイルで、画面右上のオプションアイコン(⋮)をタップします。



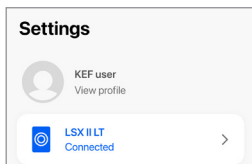
2. 「Delete profile (プロファイルの削除)」をタップします。



13.5 プロファイルについて

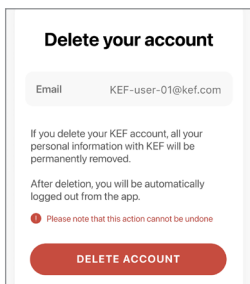
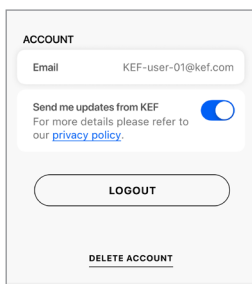
このメニュー内では、登録されたユーザーアカウントの個人情報（アカウント名とプロフィール写真）の表示、アカウントの削除が可能です。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「View profile (プロフィールの表示)」をタップします。



3. アカウントを削除したい場合は、画面の下部にある「Delete Account (アカウントを削除)」を選択し、指示に従ってプロセスを完了してください。

このプロセスは最大で10営業日かかることがあります。プロセスが完了したら確認のメールが届きます。

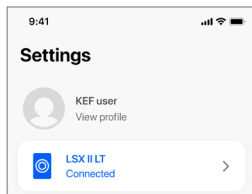


13.6 マイスピーカーを選択する

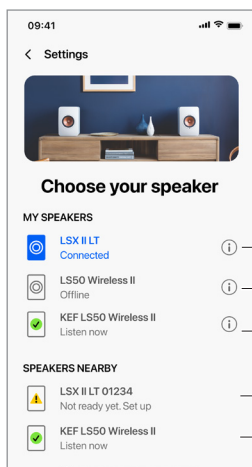
13.6.1 マイスピーカーと近くのスピーカー

このメニューでは、KEF Connectアプリを使用して別のスピーカーのペアに切り替え、コントロールとストリーミングを行うことができます。すべてのスピーカーを選択できるようにするには、まず同一KEF Connectアプリでそれらのスピーカーの設定を行う必要があります。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 接続されているスピーカーの名前をタップします。



3. 別のスピーカーのペアを選択して、コントロールとストリーミングを行います。



- ① — 使用中のスピーカー
- ① — 同じネットワークで接続中の、電源オフのスピーカー
- ① — 同じネットワークで接続中の切替可能なスピーカー
- KEF Connectアプリでの設定は未完了
- 別のモバイルデバイスによるKEF Connectアプリでの設定は完了済

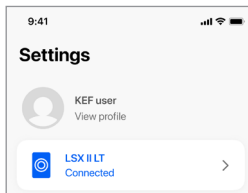


「Speakers Nearby (近くのスピーカー)」で探知されたスピーカーは同じネットワーク上にありますが、お使いのモバイルデバイスのKEF Connectアプリでコントロールする準備はまだできていません。

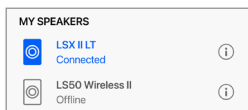
13.6.2 Speaker Info スピーカー情報

このメニューでは、接続されているスピーカーのより詳細の情報を確認したり、スピーカーの名前を変更したり、スピーカーをKEF Connectアプリから切断したりできます。

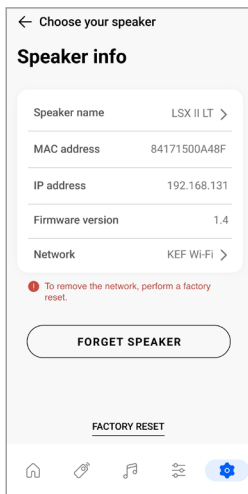
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙️) をタップします。
2. 接続されているスピーカーの名前をタップします。



3. スピーカー名の横にある情報アイコン (i) をタップします。



4. スピーカーの MACアドレス、IPアドレス、ファームウェアバージョンを確認します。スピーカーの名前を変更したり、スピーカーを消去したり (KEF Connectアプリから切断)、工場出荷時の状態にリセットすることも可能です。



13.7 スピーカーの環境設定

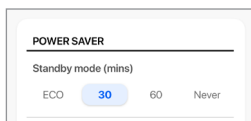
このメニューでは、さまざまなスピーカーの環境設定を行うことができます。このメニューにアクセスするには：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「Speaker preferences (スピーカーの環境設定)」をタップします。

Speaker preferences
Power on options, Do not disturb,
Speaker system options, Subwoofer
system options >

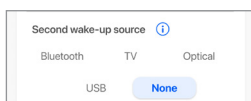
13.7.1 電源オプション – スタンバイモードについて

この設定では、スピーカーが自動的にStandby Mode (スタンバイモード) に入るまでのアイドル (待機) 状態を維持する時間【ECO (エコ) (20)、30、または60 分】を指定します。「Never (設定なし)」を選択した場合は、スピーカーを手動でオフにする必要があります。



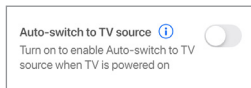
13.7.2 電源オプション – 2番目のウェイクアップソース

この設定では、選択したソースからのオーディオ入力がある場合に、2番目のソースが自動的にスピーカーをオンにします。このオプションは、Standby Mode (スタンバイモード) が ECO (エコ) に設定されている場合は使用できません。



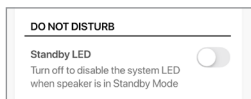
13.7.3 電源オプション – テレビソースの自動切り替え

この設定により、テレビの電源が入るとスピーカーが自動的にテレビモードに切り替わります。



13.7.4 取り込み中 – スタンバイLED

この設定では、スピーカーがスタンバイモードのとき、LED表示ランプを消灯することができます。



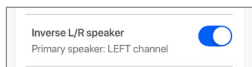
13.7.5 取り込み中 – 起動音

この設定では、スピーカーの電源が入っているときの起動音をミュート（消音）にできます。



13.7.6 スピーカーシステムのオプション – 左/右スピーカーの反転

この設定は、左右どちらのスピーカーで再生するかを変更します。デフォルトの設定では、プライマリスピーカーは右チャンネルで再生します。



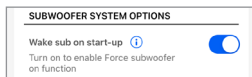
13.7.7 スピーカーシステムのオプション – KW-1パワーモード

この設定では、プライマリスピーカーのUSBポートを、音声入力から電源出力に切り替えます。この設定をオンにすることで、KW-1トランスミッターはスピーカーから電源供給できるようになります。ただし、この設定をオンにすると、USBオーディオ入力は無効化されます。



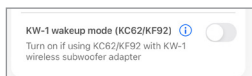
13.7.8 サブウーファーシステムの設定オプション – ウェイクサブオンスタートアップ

この設定では、スピーカーの電源がオンになったときにサブウーファーを自動的に起動させるものです。この機能はKEFのサブウーファーのみサポートしており、他のサブウーファーと互換性がない場合がございます。



13.7.9 サブウーファーシステムの設定オプション – KW-1 ウェイクアップモード (KC62/KF92)

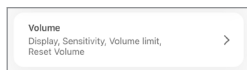
この設定では、KEF KC62またはKF92サブウーファーをKW-1ワイヤレスサブウーファーアダプターと一緒に使用する場合、より強力なウェイクアップ信号を提供することが可能です。他の接続構成でこのモードを有効にすると、予期しない結果が発生する可能性があります。



13.8 音量について

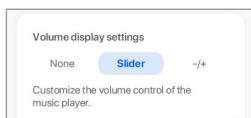
このメニューでは、ボリューム設定を行うことができます。このメニューにアクセスするには：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「Volume (音量)」をタップします。



13.8.1 音量表示の設定

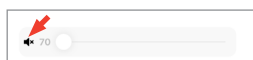
この設定では、音量コントロールの表示方法を設定できます。



- None (表示なし) : 再生中は、音量コントロールは表示されません。
- スライダー : 音量コントロールが調節用スライダーで表示されます。



ミュート (消音) にするには、左側のスピーカーアイコンをタップするか、スピーカーからオーディオ出力を復元してください。



- -/+ : 音量の調節は、「-」および「+」のボタンで表示されています。

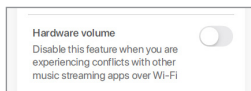


ミュート (消音) にするには、中央のスピーカーアイコンをタップするか、スピーカーからオーディオ出力を復元してください。



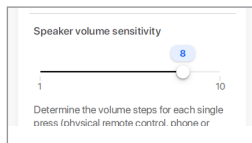
13.8.2 ハードウェアの音量設定

この設定はiOSデバイスでのみ使用できます。ハードウェア音量ボタンは、お使いのデバイスの物理的な音量ボタンを示しています。Wi-Fi 接続経由で他の音楽ストリーミングアプリと衝突する場合は、この設定を無効にします。



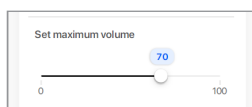
13.8.3 スピーカーの音量感度

お使いのデバイスの物理的な音量ボタン1回押し操作分の音量ステップ数を設定することができます。



13.8.4 最大音量

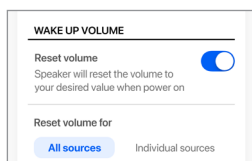
この設定では、音量を調節するときの最大レベルを設定できます。この設定はすべてのソースに適用されます。



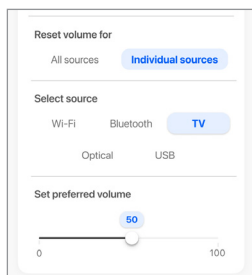
13.8.5 起動音量

この設定では、スピーカーの電源がオンになっている際の起動音量を希望のレベルに設定することが可能です。この設定はすべてのソースに適用できますが、個々のソースごとに異なる起動音量を設定することもできます。

起動音量 — 全てのソース



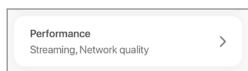
起動音量 — 各ソース



13.9 パフォーマンス

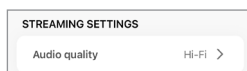
このメニューでは、ストリーミングの設定とネットワークの品質をチェックすることができます。メニューにアクセスするには:

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下にある設定アイコン(⚙) をタップします。
2. 「パフォーマンス(Performance)」をタップします。



13.9.1 ストリーミング設定 – オーディオクオリティ

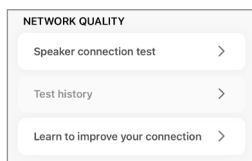
この設定により、KEF Connectアプリ内にて、音楽ストリーミングサービスの音質を選ぶことができます。



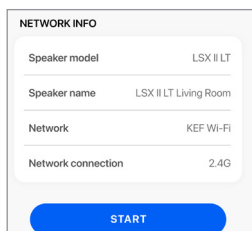
- Hi-Fi (Hi-Fiクオリティー): 最高のオーディオクオリティのために、常にこの設定を選択してください。最高音質の程度は、音楽ストリーミングサービスとご利用中の購読プランにより異なります。
- 高 (CDクオリティー): スピーカーが混雑したネットワークに接続され、音質が低下している場合は、この設定を選択してください。
- 標準 (MP3クオリティー): スピーカーが混雑したネットワークに接続され、音声途切れる場合は、この設定を選択してください。

13.9.2 ネットワーククオリティ

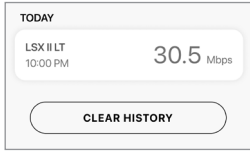
この設定により、ネットワーククオリティをご自身で確認できるようになります。詳しくは、「スピーカー接続テスト」の章をご覧ください



- スピーカー接続テスト: このオプションを選べば、ネットワークのクオリティがチェックできます



- テストの履歴:このオプションを選ぶとテスト結果の履歴を確認できます



- 接続を改善するために学べること。このオプションを選択すると、KEFのウェブサイトアクセスし、ネットワークの品質をチェック、改善するためのヒントが得られます。

13.10 ファームウェアのアップグレードについて

13.10.1 自動ファームウェアチェック

新しいファームウェアアップデートが利用可能かどうか、スピーカーは4時間ごとにサーバーをチェックします。ファームウェアが利用可能な場合は、ファームウェアのアップデートが必須かどうかを確認されます。

ファームウェアのアップデートが必須と判断されると、以下のタイミングでアップデートが開始されます。

- ・スピーカーがスタンバイモードになっている時、または
- ・Wi-FiソースまたはBluetoothソースが60分間アイドル（待機）状態の時。

ファームウェアの更新が必須でない場合は、以下のタイミングで実行されます。

- ・ファームウェアの更新が必須でない場合は、以下のタイミングで実行されます。
- ・午前2時から3時の間でスピーカーがスタンバイモードの時、または
- ・Wi-FiソースまたはBluetoothソースが60分間アイドル（待機）状態の時。

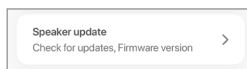
スピーカーを使用しているときは、ファームウェアのアップデートは行われません。

13.10.2 ファームウェアを手動でアップデートする

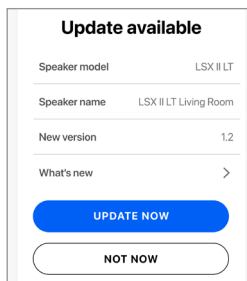
このメニューでは、ファームウェアのアップデートを手動で確認できます。

このメニューにアクセスするには：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン（⚙）をタップします。
2. 「Speaker update（スピーカーのアップデート）」をタップします。



3. アップデートが利用可能な場合は、「Update now（今すぐアップデートする）」をタップしてファームウェアのアップデートを続行します。

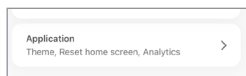


13.11 アプリケーション

このメニューでは、ホーム画面のリセットや 解析結果の送信ができます

このメニューにアクセスするには：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「Application (アプリケーション)」をタップします。



13.11.1 テーマを設定する - テーマ

この設定では、アプリのテーマモード (システム、ライト、ダーク) を設定できます。



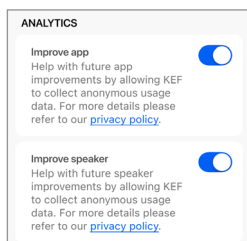
13.11.2 テーマを設定する - ホーム画面をリセットする

この設定では、アプリのホーム画面をデフォルト設定にリセットできます。



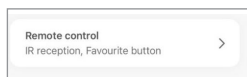
13.11.3 分析 - アプリ/スピーカーの機能性向上

この設定により、KEF Connectアプリは匿名で改善分析をKEFに送信できます。製品のパフォーマンス向上サポートのため、この設定を有効にすることを推奨します。



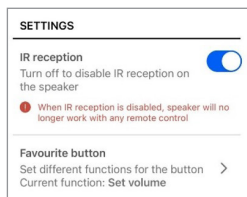
13.12 リモコン

この「設定」セクションでスピーカーのIRリモコンの動作を調整することができます。



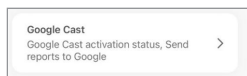
「IR受信ボタン」で、スピーカーのIR受信を有効または無効にすることができます。

「お気に入り」ボタンで、C3リモコンのお気に入り機能をカスタマイズできます。カスタマイズ可能な機能には、USBソースの選択、入力ソースの変更、スピーカーチャンネルの反転、ケーブルモード、コントロールパネルのロック、最大音量設定、音量設定、Bluetoothペアリング、サブウーファー出力調整が含まれます (適用性はスピーカーモデルによって異なります)。



13.13 Google Cast

この設定は、Google Castの有効化、デバイスの使用状況、およびクラッシュレポートをGoogleに送信することに関連しています。

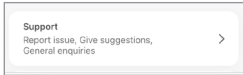


13.14 お客様サポート

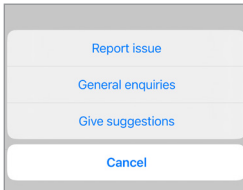
このメニューでは、問題の報告、提案、一般的な問い合わせを行うことができます。

このメニューにアクセスするには：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「Support (お客様サポート)」をタップします。



3. 必要なサポートのタイプを選択し、画面の指示に従って続行します。



4. 問題を報告する際、お使いの電子メールプログラムは、KEFが問題の調査に役立つスピーカーログを自動的に添付します。電子メールメッセージにも問題の説明を追加してください。

Support

Report issue ▼

Speaker model	LSX II LT
Firmware version	1.1
App version	1.3.2
OS version	iOS 17.0
Device name	iPhone 15
Country/Region	Hong Kong >

Issue encountered*

Describe the issue you've encountered

Steps to reproduce the issue

Enter the steps to reproduce the issue

Attach file +

LOG com.kef.LSXII.LT 2023-03...

JPG MVIMG_20230321_2031...

MP4 VID_20230321_14.mp4

Supports images and videos*

☐ I would like to be contacted by support.

SUBMIT

14. クリーニングとメンテナンス

▲警告！

感電の恐れがあります！

不適切なスピーカーのクリーニングは、怪我につながる恐れがあります。

- ・スピーカーをクリーニングする前に、必ず電源ソケット/コンセントから電源ケーブルを外してください。

注意！

短絡（ショート）の恐れがあります！

ハウジングに侵入した水やその他の液体が原因で、短絡（ショート）が発生することがあります。

- ・スピーカーのハウジングに水やその他の液体が浸入していないことを確認してください。
- ・絶対にスピーカーを水やその他の液体に浸さないでください。

注意！

スピーカー損傷の恐れがあります！

スピーカーの不適切な取り扱いはスピーカー損傷につながる恐れがあります。

- ・強力なクリーナー、金属製あるいはナイロン製の剛毛ブラシ、ナイフや硬いへらなどの鋭利なあるいは金属製のクリーニング用具のご使用はお控えください。スピーカーの表面を傷つける恐れがあります。
1. スピーカーのお手入れは、スピーカーの電源ケーブルを電源ソケット/コンセントから外してから行ってください。
 2. 清潔な、糸くずの出ない布でスピーカーの表面を拭いてください。必要に応じて、アルコールフリーのクリーナー（液晶画面クリーナー、眼鏡レンズクリーナーなど）を使用して頑固な汚れを取り除いてください。
 3. Uni-Qドライバ（スピーカーコーン）のクリーニングには、静電気防止クリーナーを使用し、柔らかいスポンジで丁寧に拭いてください。力を入れすぎるとドライバーが損傷する恐れがあります。取り扱いにご注意ください。

15. 廃棄について

15.1 梱包材の廃棄

梱包材を分別して廃棄してください。段ボール板、段ボール、包装紙はお住まいの地域のガイドラインに従って処分してください。

15.2 スピーカーの廃棄

古い電化製品は、家庭ゴミとして廃棄できない場合があります！

LSX II LTは電子製品であり、家庭ゴミとして処分できない場合があります。スピーカーは、お住まいの市町村の定める条例または規則に従って廃棄してください。これにより、古い電化製品は専門的な方法でリサイクルされ、環境への悪影響を低減できます。

15.3 バッテリーの廃棄

バッテリーは家庭ゴミと一緒に廃棄できない場合があります！

環境に優しい方法でバッテリーを処分されるために、バッテリーが有害物質*を含むかどうかにかかわらず、エンドユーザーはすべてのバッテリーを公的機関が管理する収集場所または小売業者へ持ち込むことが法律で義務付けられています。

* 次の表記のあるもの: Cd = カドミウム、Hg = 水銀、Pb = 鉛

16. よくあるご質問とトラブルシューティング

16.1 設定方法

1. スピーカーの設定方法を教えてください。

- まず、スピーカーを使用する場所にホームWi-Fiネットワークの構築が必要です。これにより、すべての機能を利用し、システムを最新の状態に保つことができます。
- 次に、KEF ConnectアプリをApp StoreまたはGoogle Playストアからダウンロードして、お使いのモバイルデバイスにインストールします。KEF Connectアプリの指示に従って、スピーカーをホームWi-Fiネットワークに接続（オンボード）します。

2. サポートするルーター仕様を教えてください。

- IEEE 802.11a/b/g/n/ac、IPv4、IPv6、デュアルバンド2.4 GHz / 5 GHz
- 特に高解像度音楽ファイルのストリーミングの安定性を高めるには、ルーターの伝送速度が少なくとも1300Mbps以上の5 GHzのWi-Fiネットワークをお勧めします。
- オフィス、ホテル、ゲスト、およびパブリックネットワークでは、多くの場合、スピーカーの接続を妨げる可能性のある追加のセキュリティまたは認証方法が使用されています。これらのネットワークを使用する場合、デバイスのすべての機能を使用するには、ネットワーク管理者によるアクセス許可が必要となる場合があります。
- LTE ルーター/モバイルホットスポットは機能しますが、バッテリーとモバイルデータを大量に消費することがあります。

3. メッシュWi-Fiルーターは使用できますか。

- はい。弊社で人気モデルのメッシュルーターをテストし、正常に動作することを確認済みです。ただし、現在メッシュWi-Fiルーターの業界スタンダードがないため、メーカーごとに独自のメッシュ技術がある場合があります。お使いのメッシュルーターがうまく作動しない場合は、ルーターが最新のファームウェアにアップデートされていることを確認するか、お使いのルーター製造元に解決策をお問い合わせください。

4. 2台のスピーカー間はどれくらい離して設置しますか？

- ケーブルで繋ぐ場合：ケーブルの長さは最長8メートルです。
- スピーカーとリスナー間の最適リスニング距離は、プライマリスピーカーとセカンダリスピーカー間の距離により異なります。プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーの間、および2台のスピーカーとリスナーの間の距離がほぼ同じになるように設置してください。

5. スピーカーがカバーできる部屋の広さを教えてください。

- 10–100 m²です。

6. プライマリスピーカーを左チャンネルに変更できますか。

- デフォルトでは、プライマリスピーカーは右チャンネル、セカンダリスピーカーは左チャンネルに設定されています。スピーカーをホームWi-Fiネットワークに接続後、KEF Connectアプリで左/右チャンネルを反転させることができます。

7. 2台のスピーカーをペアリングする必要がありますか。

- プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーは、供給されたUSB-Cインタースピーカーケーブルが接続されるとペアリングされます。セカンダリスピーカーから音が聞こえない場合は、「トラブルシューティング」の章をご参照ください。

8. スピーカーの名前を変更できますか。

- はい、名前の変更はKEF Connectアプリで行うことができます。これにより、Wi-Fi接続とBluetooth接続の両方のスピーカー名が変更されます。

9. Wi-Fiネットワークがなくてもスピーカーは使用可能ですか。

- 非Wi-Fiモードまたは非ワイヤレスモードを有効にすることで、スピーカーのオンボーディングプロセスを経ずに使用することは可能ですが、おすすめはしていません。
- そうすることで、ファームウェアのアップデートに含まれる重要な機能、バグ修正、改善点を見逃すことにもつながります。
- 初期設定としてスピーカーをWi-Fiネットワーク経由でオンボーディングすることをおすすめいたします。これにより、すべての機能と改善点を最大限に楽しむために必要なファームウェアのアップデートを確認し、適用することが可能となります。アップデート後は、好みや要件に応じてWi-Fiネットワークを使用せずにスピーカーを使用できます。

10. 手持ちのUSB-Cケーブルをインタースピーカー接続に使用することはできますか。

- 正確な接続と最高の音質を確保するために、LSX II LTに付属のUSB-Cケーブルを使用されることをおすすめいたします。
- さまざまな構成のUSBケーブルが数多く市販されているため、特定のケーブルモデルがLSX II LTと互換性があるか、また安全上の懸念がないかどうかを判断するのは困難です。
- ご自分のケーブルを使用したい場合は、ケーブルがUSB 3.0以上およびPD 3.0以上をサポートしていることを確認してください。
- KEFは第3者のケーブル（弊社以外の製品）によって引き起こされる故障や財産の損傷については責任を負いかねます。

16.2 再生とストリーミング

1. どのアプリにも最適なワイヤレスストリーミングオプションはどれですか？

- お使いのモバイルデバイスで音楽/メディアアプリを使用する際の、最適なワイヤレスストリーミングのための推奨オプションは以下の通りです。

アプリ	ワイヤレスストリーミング・プロトコル				
	AirPlay	Google Cast	音楽ストリーミングアプリのネイティブプロトコル	KEF Connect App	Bluetooth
Spotify	✓	✓	Spotify Connect ✓	–	✓
TIDAL	✓	✓	TIDAL Connect ✓	✓	✓
QQ Music	✓	✓	QPlay ✓	–	✓
Apple Music	✓	✓	–	–	✓
Amazon Music	✓	✓	–	✓	✓
Deezer	✓	✓	–	✓	✓
Qobuz	✓	✓	–	✓	✓
インターネットラジオ	✓	✓	–	✓	✓
オーディオポッドキャスト	✓	✓	–	✓	✓
Youtube (オーディオ)	✓	✓	–	–	✓
Youtube Music	✓	✓*	–	–	✓

✓ = サポートあり

✓ = 最高のオーディオクオリティと安定したストリーミングのため、サポートがあるこの組み合わせによる鑑賞を推奨します。

* Youtube Music Premiumアカウントのみご利用可

2. YouTube、Netflix、その他のメディアコンテンツからのオーディオ出力をスピーカーにストリーミングできますか？

- サービスによっては、AirPlay、Google Cast、またはBluetooth経由でストリーミングできます。

3. サブウーファー出力はモノラル、それともステレオですか。

- 出力はモノラルです。

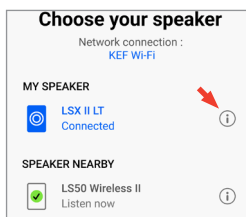
4. KEF Connectアプリではなく、外部機器（プリアンプ、ネットワークオーディオ機器、マルチルームシステム）の音量を調節する場合のスピーカー設定方法を教えてください。

- KEF Connectアプリで次の操作を行います。
 - 1) 設定画面で「Volume（音量）」に移動し、「Volume Display（音量表示）」を「-/+」に変更します。
 - 2) 該当するソース入力を選択します。
 - 3) ボリュームを71に変更します。これで、ソースの選択が「Unity gain（ユニティ・ゲイン）」に設定されました。

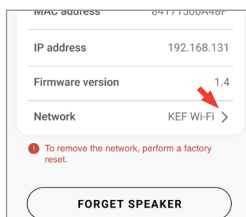
16.3 トラブルシューティング

1. LSX II LTを別のネットワークに設定する方法を教えてください。

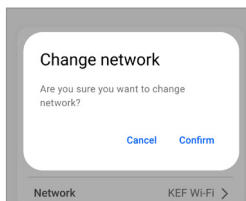
1. スピーカリストで、情報アイコン (i) を選択しスピーカー情報ページに入ります。



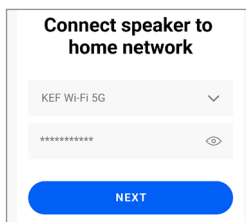
2. ネットワークの矢印アイコン(>)を選択します。



3. ネットワークの変更を確認してください。



4. 新しいWi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力してください。



5. スピーカーのネットワークを変更した後、スピーカーを制御するためにモバイルデバイスを新しいネットワークに接続してください。
- または、工場出荷時の設定にリセットし、前のネットワーク設定とすべてのEQおよびシステムの設定をクリアにします。その際、背面パネルのリセットボタン (RE) を、ボタンの上にあるLEDライトが点滅するまで押し続けてください。

2. 設定中にLSX IIがネットワーク内で見つからない場合はどうすればいいですか。

- ・プライマリスピーカーのLED表示ランプが白色とオレンジ色に点滅していて、Wi-Fiネットワークに接続できる状態であることを確認してください
- ・約30～40秒待つと、スピーカーがスピーカーリストに表示されます。
- ・40秒待ってもスピーカーが表示されない場合は、お使いのモバイルデバイス、スピーカー、ルーターが自分から見える距離にあるかを確認してください（近いほどいいです）。スピーカーはチャンネル2 (2.4 GHz帯域) でブロードキャストされます。
- ・ルーターがこのチャンネルと重複している場合は、スピーカーの検出や接続に問題が発生することがあります。ルータの設定に移動し、チャンネル2と重複しないように2.4 GHzチャンネルを設定します。

3. バグや問題を報告する方法を教えてください。

- ・KEF Connectアプリで、「Settings (設定)」>「Support (お客様サポート)」に移動して報告できます。バグや問題をよりよく理解するため、不具合の状況をより具体的に詳しくご報告ください。

4. どちらのスピーカーからも音が聞こえません。

- ・スピーカーの電源が既にオンの状態で、ミュート（消音）になっていないか確認してください。
- ・正しいスピーカーセットを再生しているか、そして正しい音源を選択しているかを確認してください。
- ・音量レベルを確認してください。音量を上げる必要がある場合があります。

5. 両方のスピーカーでドロップアウト（音飛び）が発生しています。

- ・混雑したネットワーク環境では、音楽ストリーミングのための帯域幅が減少するので、より混雑の少ないルーターチャンネルにスピーカーを設定する必要があります。
- ・ネットワークに問題がないか、KEF Connectアプリでスピーカー接続テストを行ってください。
- ・KEF Connectアプリでオーディオストリーミング品質を変更してください。
- ・混雑したネットワークや複数のワイヤレスデバイスがあると、干渉が大きくなります。スピーカーの周囲の干渉を最小限にするようにしてください。それでも問題が解決しない場合は、スピーカーのインターネットのポートをルーターに接続してください。

6. セカンダリスピーカーから音が聞こえません。

- ・プライマリとセカンダリのスピーカーの間に供給されたインタースピーカーケーブルが適切に接続されているかどうかをご確認ください。
- ・適切なUSB-Cインタースピーカーケーブルをご使用ください。
- ・インタースピーカーケーブルが正しい接続ポートに挿入されているかどうかをご確認ください。

7. セカンダリスピーカーでドロップアウト（音飛び）が発生しています。

- ・プライマリとセカンダリのスピーカーの間に供給されたインタースピーカーケーブルが適切に接続されているかどうかをご確認ください。
- ・適切なUSB-Cインタースピーカーケーブルをご使用ください。

8. スピーカーをテレビで使用すると、音声が画像と同期しくなくなります。

- ・お使いのテレビにビデオ遅延/リップシンク機能がある場合は、それらの機能をお試しください。
- ・HDMI/光デジタル入力を使用し、Bluetooth接続はなるべく避けてください。Bluetoothのコーデックには特有の遅延現象があります。

9. HDMIケーブルでスピーカーをテレビに接続しましたが、音が聞こえないのはなぜでしょうか。

- ・スピーカーのためにお使いのソースがテレビに切り替えられているかを確認してください。
- ・プライマリスピーカーのLED表示ランプが水色に点滅している場合は、HDMI接続が見つからない状態にあります。この場合、HDMIケーブルがテレビのARCポートに接続されているかを確認してください。

プライマリスピーカーのLED表示ランプが水色にパルス点灯している場合は、CEC接続（ARC接続ではない）のみが確立されています（テレビが音声なしでレスポンスする場合があります）。この場合、次の操作を行ってください。

- ・テレビでHDMI CEC接続を有効にする必要があります。この接続の呼称はメーカーにより異なる場合があります（例：SamsungのAnynet+、LGのシンプレックス）。お使いのテレビのHDMI接続をオンにする方法については、お使いのテレビのユーザーマニュアルをご参照ください。HDMI CEC接続が有効になると、プライマリスピーカーのLED表示ランプが水色に一瞬点灯したのち消えます（CECとARCの両方の接続が確立されている）。
- ・万が一音が出ず、他のすべてが正常に機能している場合は、HDMIのオーディオ出力がPCMに設定されていることを確認してください（これは通常、デフォルトでDolby Digitalに設定されています）。各テレビメーカーの設定メニューは異なるため、テレビのユーザーマニュアルをご参照ください。また、使用中のアプリケーション（例：NetflixやDisney+）の設定も確認し、PCMが選択されていることをご確認ください。プライマリスピーカーは、LEDインジケータライトが青と紫で点滅している場合、非PCM信号を検出しています。
- ・HDMIケーブルを交換してください（弊社の内部テストにおいて、クオリティの低いHDMIケーブルを使用した場合、接続を確立できないケースが見られました）。また、ケーブルがきちんと接続されていることを確認してください。
- ・最後の手段として、テレビの電源を切ったのち（テレビから電源ケーブルを抜き、約10～15秒待ってから差し込み直す）、もう一度試してみてください。スマートテレビは電話機と同じで、再起動が必要な場合があります。
- ・問題が解決しない場合は、KEF ConnectアプリのSupport（お客様サポート）セクションに問題を報告して、調査を依頼してください。調査結果が出るまでは、代替策として光デジタル接続を使用してください。

10. スピーカーを光デジタルケーブルでテレビに接続しましたが、音が聞こえないのはなぜですか。

- ・お使いのテレビで、PCMフォーマットでデジタルオーディオを出力する設定がされているかを確認してください。
- ・問題が解決しない場合は、別の光デジタルケーブルまたは他の接続オプション（例：HDMI）をお試しください。

11. KEF Connectアプリでラジオ局またはポッドキャストが見つかりません。

- ・弊社では、ラジオ局やポッドキャストのデータベースを常にアップデート、拡張しています。KEF ConnectアプリのSupport（お客様サポート）機能を使用して、弊社宛に当該WebサイトのRSSリンクを送信してください。検証後、データベースに追加します。

12. スピーカーの音量が調節できません。

- ・音量調節で最大レベルの設定が既にされていないかを確認してください。
- ・ネットワーク内にある正しいスピーカーセットに接続してコントロールをしているか確認してください。

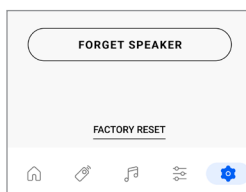
13. 私用のUSB-Cをインターコネクターとして使用したいのですが、セカンダリスピーカーから音がでません。

- ・プライマリとセカンダリスピーカーの間に供給されたUSB-Cケーブルが適切に接続されているかどうかをご確認ください。
- ・お手持ちのケーブルがUSB3.0以降、またPD3.0以降をサポートしていることをお確かめください。

* LSX II LTのインタースピーカーコネクションには、他メーカーのUSB-Cケーブルのご使用をおすすめしておりません。付属のインタースピーカーケーブルは独自の構成であり、弊社が目指すパフォーマンス基準を満たしております。（詳細は[こちら](#)）

14. スピーカーを工場出荷時の設定にリセットする方法。

- ・そうするために：
 1. プライマリスピーカーの背面にあるリセットボタンを約5秒間押し続け、ボタンの上にあるLEDライトがアンバー色に点滅するまで待ちます。プライマリスピーカーのLEDインジケータが白とオレンジで点滅します。
 2. アプリを起動し、スピーカーの設定手順に従ってください。
- ・または、KEF Connectアプリで工場出荷時の設定にリセットすることも可能です。
 1. スピーカーリストで情報アイコン（）を選択し、スピーカー情報ページに入ります
 2. 画面の下部にある「Factory Reset（工場出荷時の設定にリセット）」を選択します。



16.4 LED 表示ランプ

スピーカーの接続状態や動作状況は、プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーのLED表示ランプの色やパターンで簡単に確認することができます。下記一覧表をご参照ください。

スピーカー	パターン	動作状況
プライマリ スピーカー	 白色とオレンジ色に点滅	LSX II LTはWi-Fiネットワークに接続する準備ができています。KEF Connectアプリを起動し、スピーカーを設定します
プライマリ スピーカー	 オレンジ色にパルス点灯	スピーカーはスタンバイモードで、Wi-Fiネットワークへのアクセスを試行しています
プライマリ スピーカー	 オレンジ色*	スピーカーはスタンバイモード、Wi-Fiネットワークに接続されています
プライマリ スピーカー	 オレンジ色に点滅	スピーカーがWi-Fiネットワークに接続できません
		- ルーターの電源がオンになっていることを確認する - プライマリスピーカーをルーターに近づけてください。それでも問題が解決しない場合は、プライマリスピーカーをLANケーブルでルーターに接続してください - ネットワーク接続後すぐに問題が発生した場合は、Wi-Fiパスワードが間違っている可能性があります。初期設定（プライマリスピーカーのリセットボタン(R)をボタンの上のLEDランプが点滅するまで長押し）を行い、再度接続作業を実施してください
プライマリ スピーカー	 白色*	スピーカーはWi-Fiモード作動中
プライマリ スピーカー	 緑色*	スピーカーはSpotify接続モード作動中
プライマリ スピーカー	 青色*	スピーカーはBluetoothモード作動中で、デバイスとペアリング済み
プライマリ スピーカー	 青色にパルス点灯	スピーカーはBluetooth検出モードで、Bluetoothデバイスとペアリングできる状態です
プライマリ スピーカー	 水色*	スピーカーはTVモード作動中
プライマリ スピーカー	 水色にパルス点灯	スピーカーはテレビに接続しています

スピーカー パターン	動作状況
プライマリ スピーカー  水色に点滅	スピーカーがテレビに接続されていません
プライマリ スピーカー  紫色*	スピーカーはOpticalモード作動中
プライマリ スピーカー  ピンク色*	スピーカーはUSBモード作動中
プライマリ スピーカー  白色にゆっくり点滅	Wi-Fiモードでは、スピーカーは消音状態になります。
プライマリ スピーカー  青色にゆっくり点滅	Bluetoothモードでは、スピーカーは消音状態になります。
プライマリ スピーカー  水色にゆっくり点滅	TVモードでは、スピーカーは消音状態になります
プライマリ スピーカー  紫色にゆっくり点滅	Opticalモードでは、スピーカーは消音状態になります。
プライマリ スピーカー  ピンク色にゆっくり 点滅	USBモードでは、スピーカーは消音状態になります。
プライマリ スピーカー  水色と黄色に点滅	スピーカー間の接続が途切れしました。 1. プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーの間に、スピーカー間ケーブルが接続されていることを確認してください 2. スピーカー間ケーブルがプライマリスピーカーとセカンダリスピーカーの「(T) To P/S」ポートに正しく挿入されているか確認してください
セカンダリ スピーカー LED点灯なし	セカンダリスピーカーは正常に動作しています
プライマ リスピーカ ーとセカン ダリスピー カー  赤色にすばやく点滅	システムエラー 1. スピーカーから電源ケーブルを抜きます 2. そのまま60秒待ちます 3. 電源ケーブルをスピーカーに差し込みます。 4. プライマリスピーカーのLED表示ランプがオレンジ色に点灯すると、スピーカーがネットワークに接続しようとしていることを示しています もし問題が解決しない場合は、ご利用のKEF販売店までご連絡ください

スピーカー パターン	動作状況
プライマリ リスピーカー ーとセカン ダリスピー カー 	赤色とオレンジ色に ゆっくり点滅 過熱防止機能が作動中
プライマリ リスピーカー ーとセカン ダリスピー カー 	白、青、水色、紫、ピ ンクが交互に点滅し ている ファームウェアが更新中。ファームウェアの更新が完了するまで、電源ケーブルを抜かないでください。ファームウェアの更新中に何か問題が発生した場合は、その作業を中断せず、地域の担当者、もしくは最寄りのKEF販売店にご連絡ください。
プライマリ リスピーカー ーとセカン ダリスピー カー 	ファームウェアの更新に失敗しました 1. スピーカーから電源ケーブルを抜きます 2. そのまま60秒待ちます 3. 電源ケーブルをスピーカーに差し込みます 4. KEF Connectアプリで、再度ファームウェアの更新を行います もし問題が解決しない場合は、KEF Connect アプリからログを送信してください（設定 > サポート > 問題を報告）。
プライマリ スピーカー 	赤色と水色にゆっく り点滅 ファームウェアの更新中にセカンダリスピーカーが検出されなくなりました。
プライマリ スピーカー 	水色と紫でゆっく り点滅している テレビモード (HDMI) で非PCM信号が検出されています。
プライマリ スピーカー 	青とオレンジでゆっく り点滅している 非Wi-Fi接続モードが有効になっている。
プライマリ スピーカー 	水色とオレンジでゆ っくり点滅している 非ワイヤレス接続モードが有効になっている。

*LED表示ランプは、再生や音量調整などのスピーカーの操作がない場合、短く点灯したのち消えます。

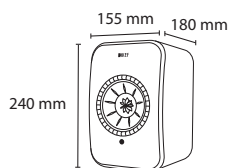
17. 付録

17.1 仕様

モデル	LSX II LT
ドライブユニット	Uni-Q ドライバーアレイ: HF: 19 mm (0.75 in.) アルミニウムドーム LF/MF: 115 mm (4.5 in.) マグネシウム/アルミニウム
85 dB/1 mで測定された周波数範囲 (-6 dB)	49 Hz–47 kHz *EQ設定により異なる
85 dB/1 mで測定された周波数範囲 (±3 dB)	54 Hz – 28 kHz *EQ設定により異なる
アンプ出力電力 (各スピーカー)	LF: 70 W HF: 30 W
アンプクラス (各スピーカー)	LF: クラス D HF: クラス D
スピーカーから1m離れた位置での最大SPL (出力音圧レベル)	102 dB
ワイヤレスストリーミング機能	AirPlay Google Cast UPnP との互換性あり Bluetooth 5.0
ストリーミングサービス	Spotify Connectを介したSpotify TIDAL CONNECT 経由のTIDAL Amazon Music Qobuz Deezer Qplay経由のQQ Music インターネットラジオ ポッドキャスト *各国で利用可能なサービスにより異なります
ソース解像度	ネットワーク: 最大384 kHz/24 bit 光デジタル: 最大 96 kHz/24 bit USB タイプ C: 最大 192 kHz/24 bit HDMI: 最大 1.411 Mbps PCM *ソース解像度により異なります
スピーカー間の接続	ケーブル: すべてのソースで96kHz/24bit PCMにリサンプリング
対応フォーマット (ネットワーク)	DSD, FLAC, WAV, AIFF, ALAC, AAC, WMA, MP3, M4A, LPCM および Ogg Vorbis

寸法 (高さ × 幅 × 奥行き)

240 × 155 × 180 mm
(9.5 × 6.1 × 7.1 in.)



重量 (スピーカー2本合計)

6.8 kg (15.0 lbs)

電源入力

100–240 VAC 50/60 Hz

消費電力

200 W (動作電力)
< 2.0 W (待機電力)

	プライマリスピーカー	セカンダリスピーカー
入力	HDMI ARC TOSLINK 光デジタル USBタイプC RJ45イーサネット (ネットワーク用) USBタイプC (スピーカー間用)	USBタイプC (スピーカー間用)
出力	RCA サブウーファ出力	–
Wi-Fi ネットワーク規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac IPv4, IPv6	–
Wi-Fiネットワーク周波数帯	デュアルバンド2.4 GHz / 5 GHz	–

ワイヤレスのパフォーマンスは、ネットワーク・トラフィック、アクセスポイントからの距離、部屋の材質と構造、干渉、その他の悪条件など、数多くのさまざまな要因によって異なります。

より詳細の情報およびトラブルシューティングについては、KEFのWebサイト (KEF.COM) をご参照ください。

KEFは、継続的な研究開発に基づき、事前の通告なく製品仕様を修正または変更する権利を有します。誤記脱漏に関しては、この限りではありません。



Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。



Amazon Musicは、Amazon.com Inc.の登録商標です。



AppleとAirPlayは、米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.の商標です。



Deezerは、Access Industriesの登録商標です。



Google、Google Cast、およびGoogle Playは、Google LLCの商標です。





Qobuzは、Xandrie SAの登録商標です。



QQ Musicは、Tencent Music Entertainment Group (TME)の登録商標です。



Spotifyは、Spotify ABの登録商標です。



Tidalは、Aspiro ABの登録商標です。

17.2 スピーカー接続テスト

KEF Connectのスピーカー接続テストでは、KEFワイヤレススピーカーシステムに利用可能なネットワーク帯域幅を調べます。これはランダムなサーバーからスピーカーにファイルをダウンロードすること、インターネットサービスプロバイダ (ISP) から提供される帯域幅と通信トラフィックからルータとスピーカー間の接続速度まで、ネットワークのあらゆるステージを検証項目としています。表示されるもう1つの値は、「ping」です。これは、サーバーに到達可能かどうかを確認するために使用する信号で、その所要時間を示します。

サービスによって必要な速度は異なりますか？

音楽配信サービスでは、利用するオーディオファイルのサイズによって推奨される速度が異なります：

サービス	最低限の推奨帯域幅
Tidal (Master tier)	2 Mbps
Amazon Music (Ultra HD)	5-10 Mbps
Amazon Music (HD)	1.5 – 2 Mbps
Deezer	5 Mbps
Qobuz	10 Mbps

サービスにより推奨される最小専用速度は異なります。大きな高解像度の音楽ファイルの安定したストリーミングに必要な推奨最低帯域幅は、13 Mbps以上です

その意味するところは、必要なネットワークの帯域幅は、お使いのすべてのデバイスの帯域幅の合計を上回っている必要があります。アクティブなネットワークデバイスが、利用可能な帯域幅よりも多くの帯域幅を必要とする場合には、速度やパフォーマンスの低下、音切れが発生する可能性があります。これは、ウェブ閲覧やファイルのダウンロードではそれほど問題になりませんが（遅くなることを除いて）、音楽ストリーミングでは特に問題になります。

テストのスコアが、ISPと契約しているものよりずっと低いのですが、なぜでしょうか？

通常、ISP（インターネットサービスプロバイダ）が提供する帯域幅は「最大〇〇まで」と広告されていることが多く、これはネットワークに接続できる最大帯域幅を表しています。そして最大帯域幅は、プロバイダーのケーブル品質や契約の「公正使用」条項、同じサーバーにアクセスする契約者数など多くの事柄に影響を受けます。

また、広告通りの最大帯域幅を利用できていたとしても、ご自宅のネットワーク環境が障害になることもあります。主な原因としては、干渉、障害物による遮蔽、ルーターとデバイスの距離などがあります。ご利用の時間帯も影響します。お住まいの地域で、多くの人が同時間

帯にインターネットを使用している場合、帯域幅が狭くなることがあります。しかし、いずれの場合でもテストのスコアを向上させるシンプルな方法がありますので、お試しください。

なぜ他のテストよりスコアが低いのですか？

インターネット接続テストは、理論上「最善のシナリオ」をもとにした速度を示すのに特化しており、ご利用のISPが提供しているものを知る良い指標とはなりませんが、KEFスピーカーシステムが利用できる帯域幅を具体的に示すものではありません。KEF Connectのスピーカー接続テストは、スピーカーシステムを実際に使用することを想定した数値です：

KEF Connect		その他のテスト
テストに使用するサーバ	ランダム (実用環境)	可能な限り近場の (最適化、非現実的)
接続可能回数	One (個人のKEFのスピーカーシステムと同様に機能)	できる限り複数回 (人為的に最大化した情報量)
ダウンロードされたファイルのダウンロード先	KEFスピーカーシステム (ネットワークへのシステム接続の質に起因する)	電話/コンピューター (質がより良い/悪いネットワークエリア内の可能性)

ネットワーク機能を改善するために

帯域幅を改善するには、いくつかの方法があります。コンピューターやルーターの知識を必要としない簡単なものから、ルーターの設定変更を伴う高度なものまであります。常にルーターの取扱説明書を参照して、不明な点がある場合は、専門家にご相談ください。

まず、スピーカーシステムがどのようにルーターに接続されているかを確認する必要があります – イーサネットケーブルによる有線接続、もしくはワイヤレス接続

イーサネットケーブルで接続している場合：

1. ルーターのファームウェアが更新されているか確認します。

既知のバグによる影響を消去するために、いかなる電子機器においても基本的な手順です。

2. ルーターを再起動します。

ルーターは基本的にコンピューターであり、同じ問題による影響を受けます。バグや一時的なエラーによってメモリが過剰に使用されていたり、ルーターが過熱状態になることがあります (密閉された空間にルーターを置かないようにする理由の1つです)。さらに、IPアドレスが競合している可能性もあります。そして、ルーターを再起動することで、これらの問題を解決できる場合があります。実際、ルーターの再起動は定期的に行うことをお勧めしますが、ネットワークのパフォーマンスが低下したと思われる時はいつでもお試しください。ルーターには、再起動の予定を設定できるものもあるので、「再起動の予定をセットして忘れる」ことも可能です。

3. ケーブルに、損傷や無理なねじれがないかを確認します。

ホームネットワーク用のケーブルの長さが問題になることはほとんどありませんが (たとえば、Cat 6イーサネットケーブルは37m/121フィート以上で10Gbpsを伝送できます)、過度に折れ曲がっていたり損傷していると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

4. 「ネットワークホームプラグ」を使用している場合は、見直しをお勧めします。

これらのデバイスは、イーサネットケーブルの延長として、主電源配線を使用します。便利なソリューションではありますが、主電源配線の品質や接続方式に大きく依存するため、必ずしも期待通りに動作するとは限りません。

ワイヤレスで接続している場合:

基本編

ワイヤレス接続を使用する場合に必要な手順。これらの手順は、ルーターの設定を変更するものではありません:

1. ルーターのファームウェアが更新されているか確認します。

既知のバグによる影響を消去するために、いかなる電子機器においても基本的な手順です。

2. ルーターを再起動します。

ルーターは基本的にコンピュータであり、同じ問題による影響を受けます。バグや一時的なエラーによってメモリが過剰に使用されていたり、ルーターが過熱状態になることがあります(密閉された空間にルーターを置かないようにする理由の1つです)。さらに、IPアドレスが競合している可能性もあります。そして、ルーターを再起動することで、これらの問題すべてを解決できる場合がありますので、定期的に(2ヶ月ごと、またはネットワークが通常よりかなり遅いと感じられる場合)実行してください。

3. イーサネットケーブルでルーターに接続してください。

ケーブル接続がもし可能であれば、以下のような問題が解消されます。

4. ルーターとデバイスの間の距離を縮める。

Wi-Fi信号は音と同じで、遠ざかれば遠ざかるほど「静か」になり、利用可能な帯域幅が狭くなります。

5. 送信機器をスピーカーから遠ざける。

コードレス電話、Bluetooth機器、ベビー用モニター機器、もしくはルーターであっても、送信機器は近すぎると干渉を起こすことがあります。トラブル解決のために、近くにある送信機の電源を切って、KEFスピーカーシステムのネットワーク性能が改善されるかどうかを確認します。もし改善が見られた場合、デバイス間の距離を拡げるようにしてください。

6. ルーターとデバイスの間の障害物を減らす。

距離と同じように、障害物も信号を遮断して帯域幅を狭める可能性があります。金属製のものは最大の障害物で(鉄筋コンクリート、鏡の裏板)、次いでコンクリート、しっくい、レンガとなります。これは、地下室や階段下の物置棚に、ルーターを置かないことをお勧めする大きな理由の一つです。

7. ルーターが別の部屋にある場合、2.4GHz帯に切り替えてみます。

最近のルーターは、ほとんどがデュアルバンドです。これは、2.4GHz帯と5GHz帯の両方で送信していることを意味します。5GHz帯は帯域幅は広いのですが、通信距離が短く、障害物の影響を強く受けます。2.4GHz帯は総帯域幅が狭くなりますが、ルーターとスピーカーが同じ部屋にない場合、実際には2.4GHz帯を選択する方がよい場合があります。

8. 集合住宅や、周囲にたくさんのネットワーク機器がある場合は、5GHz帯をお試しください。

2.4GHz帯利用の機器が多い場合、利用可能な帯域幅が残り少ないかもしれません。KEF社のスピーカーシステムがルーターの近くにあり、障害物がほとんどない場合、5GHz帯に接続して帯域幅を広げてみてください。障害物がある場合は、ルーターに近いネットワーク機器を5GHz帯に移行し、2.4GHz帯の帯域を空けてみてください。これは、隣近所がたくさんいるような住環境で、ネットワークに干渉が生じているような場合にも役立ちます。

応用編

これらの手順は少し高度な内容を含み、ルーターの設定変更を伴う場合があります。必ずルーターの取扱説明書に従って操作するか、専門家にご相談ください：

1. バンドのチャンネルを変更する。

2.4GHz帯も5GHz帯も、複数のチャンネルで構成されています。同じチャンネルにいる近くの他のネットワークは帯域を奪い合うので、「ネットワークアナライザー」アプリを使って、どのチャンネルが混雑していないかを判断し、ルーターの設定で調整します。この問題は、通信距離が長く帯域幅が狭い2.4GHzで発生しやすく、干渉の可能性と深刻度が高まります。2.4GHzは「自動」に設定されていることが多いですが、ルーターによってはチャンネルを入れ替えるのが得意なものもあるので、チャンネルを手動で設定することをお勧めします。

5GHzのチャンネルに関する注意点 — 国によっては、いくつかのチャンネルの公共利用に制限がかけられている場合があります。どのチャンネルが制限されていないか、お住まいの自治体に確認してください（ほとんどのルーターは、その国用に正しく設定されているれば、自動的に制限付きのチャンネルをオフにします）。

2. バンドステアリングを無効にする。

ルーターの中には、「バンドステアリング」機能を搭載しているものがあります。これはルーターが、その時のデバイスにとって最適な方に5GHzまたは2.4GHzにデバイスを自動的に配置するという機能です。ここでも、ルーターの中にはこの機能に優れているものがあり、より強い2.4GHzネットワークに切り替えるよりも、より弱い5GHzネットワークにとどまることを好むといったような場合もあります。

3. 複合SSIDを無効にし、2.4GHzと5GHzのチャンネルを分けて運用する。

機器によっては、2.4GHzと5GHzの両方のチャンネルに同じ名前/パスワードを設定することがあります。これは非常に便利ですが、デバイスによっては、5GHzの方が良い場合であっても2.4GHzにデフォルトで接続したり、その逆が発生することもあります。2.4GHzと5GHzを別々のネットワークで管理することで、どのデバイスをどのネットワークに配置するか、帯域幅を最適化して使うことにつながります。

メッシュネットワークとWi-Fiエクステンダー

メッシュネットワークやWi-Fiエクステンダー（中継機）は、家庭内のネットワーク適用範囲を向上させる非常に便利なツールです。しかし、最高のパフォーマンスを得るためには、正しい設計と設置が必要です。以下の情報は、メッシュネットワークの検討事項をまとめたものです。メッシュネットワークの設定に関する技術的な詳細やサポートについては、メーカーまたはネットワーク機器の専門販売店にお問い合わせください。

特筆すべきことは、これらのツールはルーターからデータを受信し、次のノードまたはデバイスにデータを渡すという作業を効率的に反復して行っているということです。これによる遅延がまず生じますが、利用可能な帯域幅にも制限されており、ルーターとノード間の接続は、先に述べた距離、障害物、干渉と同じ問題に左右されます。

したがって、メッシュネットワークの設計やWi-Fiエクステンダーの設置場所を計画する際には、必要だと思われる数よりも多くのノードを見積り、それらを近くに配置するようにします。そうすることで、潜在的な帯域幅を最大化することができます。

また、メーカーによってメッシュ技術の扱いが異なるため、ネットワーク接続されたデバイスとの互換性に問題が発生することもあります。KEFワイヤレススピーカーシステムを使用する際にこのような問題が発生した場合は、サポートリクエストを送信してください。

17.3 消費電力

さまざまな動作モードによるLSX II LTの消費電力：

LSX II LTの消費電力			
動作モード		スタンバイ (待機状態)	電源が入った 状態
通常モード	省エネモード	1.2 W	14.5 W
	非省エネモード	3.2 W	14.5 W
非Wi-Fi接続モード (HDMI自動起動)		1.2 W	14.2 W
非ワイヤレスモード		0.42 W	13.24 W

17.4 表示マークの説明

17.4.1 警告・忠告マーク



正三角形の中に矢印のついた稲妻マークは、本製品の筐体に絶縁されていない「危険な高電圧」の部品が含まれており、人体が触れると感電する危険性があることをユーザーに警告しています。



正三角形の中に「I」が描かれたマークは、本製品に同梱した資料に、操作とメンテナンス (サービス)に関する重要な記載があることをユーザーに警告しています。

17.4.2 国・地域別マーク

ヨーロッパおよび北アメリカ



このマークは、EU全域において本製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。規制に反した廃棄物処理による環境または人体の健康への悪影響を防ぐため、責任を持って本製品をリサイクルし、物的資源の持続可能な再利用に貢献しましょう。

使用済みデバイス廃棄の際は、適切な回収システムを利用するか、本製品を購入した販売店にご連絡ください。環境に配慮したリサイクルのための製品回収サービスを提供している場合があります。



この記号が付いた製品が、欧州経済領域において適用されるすべての地域規則を満たしていることを示しています。



ULマークは、主要製品のサンプルが、UL規格基準を満たしていることを示しています (カナダ、アメリカ)。



Energy Verified
Rendement
Énergétique Vérifié

このULエネルギー認証マークは、本製品がエネルギー効率に関する必要事項を満たしており、米国およびカナダ市場の技術的・法的規格基準に準拠していることをULが承認したことを示しています。



このFCCマークは、デバイスからの電磁妨害が米国の連邦通信委員会が承認した制限規定を準拠していることを証明しています。



UKCAマーキングは、英国（イングランド、ウェールズ、スコットランド）内で販売される製品が該当する要件に適合していることを示す適合マークです。

アジア太平洋地区



RMCマーク（オーストラリア、ニュージーランド）と呼ばれるこの安全マークは、本製品がACMAの関連ガイドライン、および電気機器の安全性に関する政府の要件に準拠していることを示しています。



このマークは、本製品がシンガポール消費者保護登録制度の指定する安全要件を満たしていることを示しています。



Imported by
KEF JAPAN

日本PSEマーク認証は、本製品が「電気用品安全法（DENAN）」の技術的要件を満たしていることを示しています。



これらのマークは、日本において通信端末機器の技術的および設計上の要件に準拠していることを示しています。



韓国認証マークは、本製品が韓国の電気機器および電子機器に関する製品安全要件に準拠していることを示しています。



中国品質認証マークは、製品が中国の安全、品質、環境、エネルギー効率に関する標準（国標規格）に適合していることを示すものです。



本製品は海拔2,000m未満の地域（中国）での使用に限り適しています。



RoHS（中国）：本製品は特定有害物質を含んでおり、環境に配慮した使用期間（10年間）は安全に使用できます。環境に配慮した使用期間を超過したスピーカーは、リサイクルシステムに組み入れましょう。



RoHS

RoHS（台湾）：このマークは、本製品が特定の有害物質が指定濃度の限度を超過していないことを示しています。



本製品は、台湾国家通訊傳播委員会（NCC）から低電力無線周波数機器として認定されています。



このMCMC認定マークは、本通信機器がマレーシアの「通信およびマルチメディア（技術基準）に関する規則2000」への準拠が認定されていることを示しています。

17.5 IR（赤外線）コマンドコード

お手持ちのリモコンがKEFのIR（赤外線）コマンドコードを搭載したユニバーサルリモコンの場合、そのリモコンを使用してLSX II LTを操作できます。

以下の表がリモコン操作に必要なコマンドコードです。

コードフォーマット:	NEC
ファクトリーコード:	0x01

	機能	機能コード
1	電源オン/オフ切替	0x40
2	ミュート（消音）/ミュート（消音）解除切替	0x20
3	再生/一時停止	0x18
4	次に進む	0x52
5	次のソース	0x58
6	音量大	0x60
7	音量小	0xA0
8	前に戻る	0xD2
9	電源オン	0x38
10	電源オフ	0x3A
11	ミュート（消音）	0x48
12	ミュート（消音）解除	0x4A
13	ソース: Wi-Fi	0x30
14	ソース: Bluetooth	0x2A
15	Bluetoothのペアリング	0x98
16	ソース: 光デジタル	0x0A
17	プリセット音量（30 %）	0x78
18	ソース: HDMI	0x88 / 0x8A
19	ソース: USB	0x1A
20	前のソース	0xD0

より詳細のサポートについては、kef.comにアクセスしてください。